

MUJIN COMICS

成年
コミック

常春の少女たち

THE GIRLS
IN THE ETERNAL SPRING

Presented by
TAKUTO SHIKI
史鬼匠人



あらら

またお風呂の時間
間違えるだなんて
実は狙ってるのかしら？

本当に勘違いでっ…
すみません

でも今回はこんなに
大きくしてるしねえ
ねえどう思う朝日？

これは間違いなく
確信犯お仕置き必要♪

はい大人しく
横になる



あむっ

せっかくのお風呂だし
きちんと綺麗にしないとね

あむっ

身も心も
スツキリ♪



何々
またやってんの？

あちやくこりや完璧に
捕まっちゃってるわね
ご愁傷様

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

藍葉相手にどれくらい
もつかね 新人君は

あはは
やれやれ

ふふふ 長谷部君はいじられ
キヤラに定着しつつあるなあ

もう
ツリ

うー
あー

うー
あー

うー
あー

うー
あー

うー
あー

うー
あー

うー
あー

うー
あー

うー
あー





こうなった——

どきどき——

行政指定風俗営業特区

通称——
常春

ここはる

おええええ



本島から少し離れた小島
ここ常春は現代に蘇った遊郭だ
政府が風俗営業を
指定の地域のみ
規制したのが始まりだった



ほらさっさと
歩けっ

はい
すみません

どうしてなんて
わかつてる

借金の返済ができず
この島に強制労働
させられに来たのだ



常春

Tokoharu
<第1話>

常春はそのなかでも
最も規模が大きく
多くの男達が
日々色を求める場所
として賑わっていた

本当に一つの町に
なってるんだな

聞いては
いたけど...

今、春なんかじゃ
ないのに...



さすが扇屋だ

こりゃあ
たまらんなあ



まあこんな島じゃ
逃げ道もないか

はい

ちよつとここで待つてろ
店主に話してくる
…逃げるなよ



おつきいなあ…
?

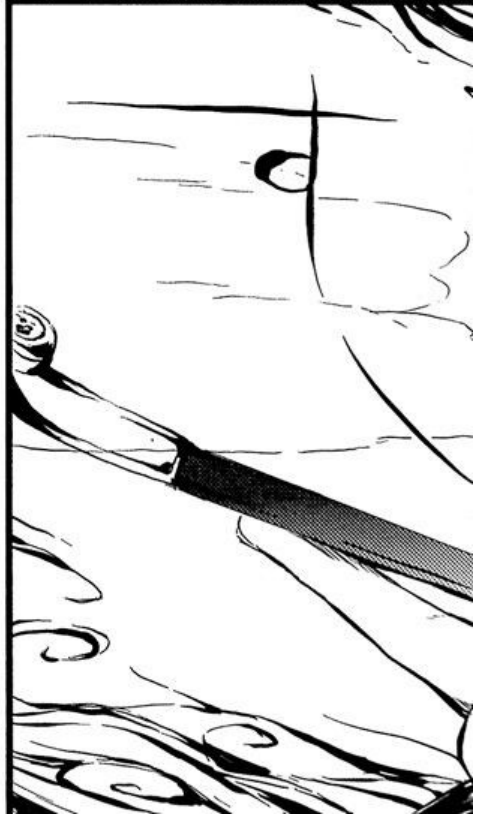
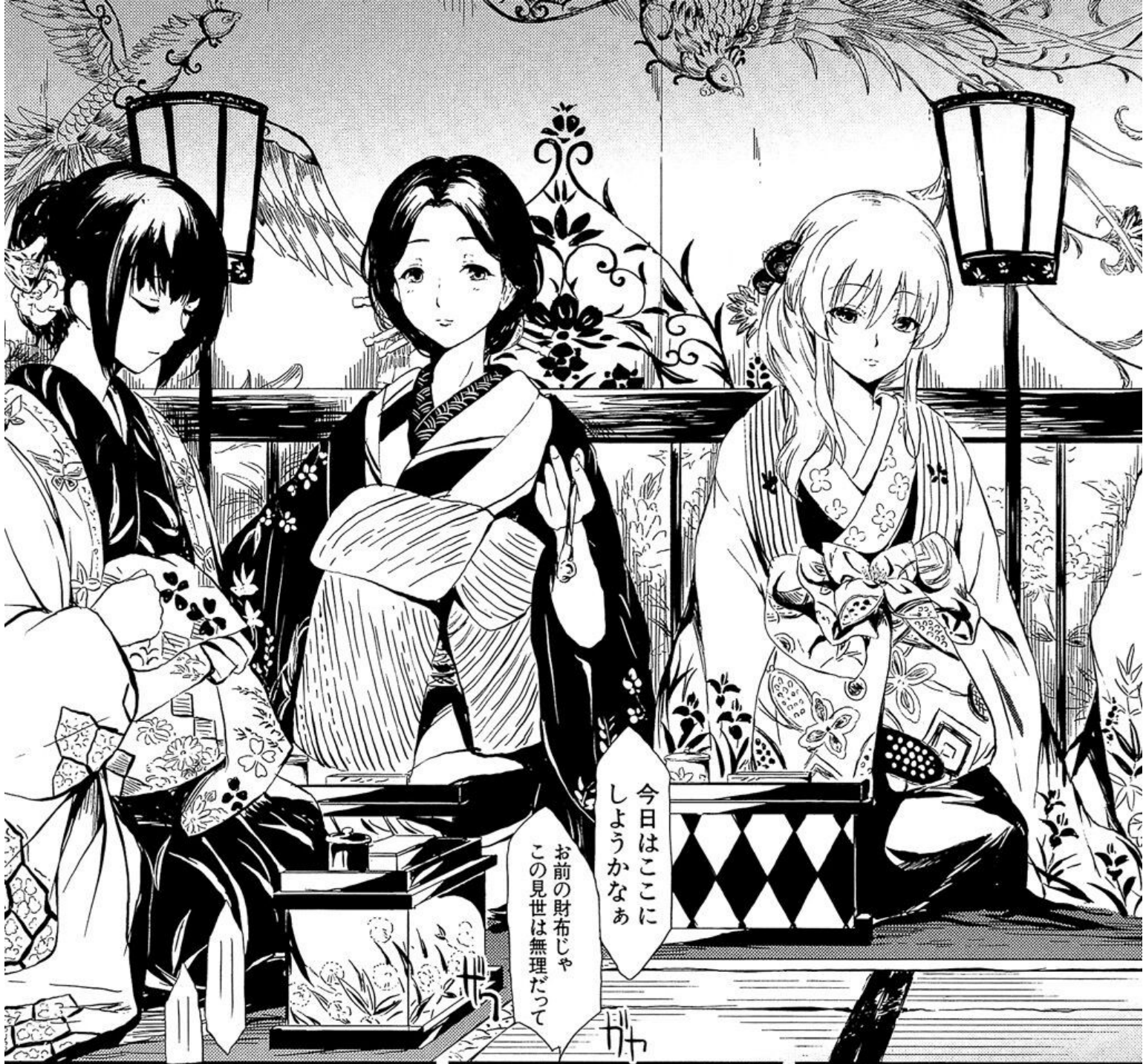


ほらどうです旦那!
一目でいいから
見ていって下さいよ

常春一の美女
揃いで有名な大見世
扇屋に入らない
なんて勿体無い



何の騒ぎだ?





爺 そちらの方は
今日から働く予定だった人？



はい、先ほど到着
したところです
藍葉様

え…
あ

は、初めまして
長谷部と申します
今日からよろしく
お願いします

ペゴッ

いいよそんなに
畏まらなくても

私のことは藍葉で
いいからね



こら藍葉！ さつさと
張見世にでないかい

あ~~~~
はいはい
急ぎますって



アンタはいつになったら
時間を守るんだい!!

すみません
善処します

ごめんね
なんかバタバタ
してて

いいえ

今日から
よろしくね
長谷部君

……はい



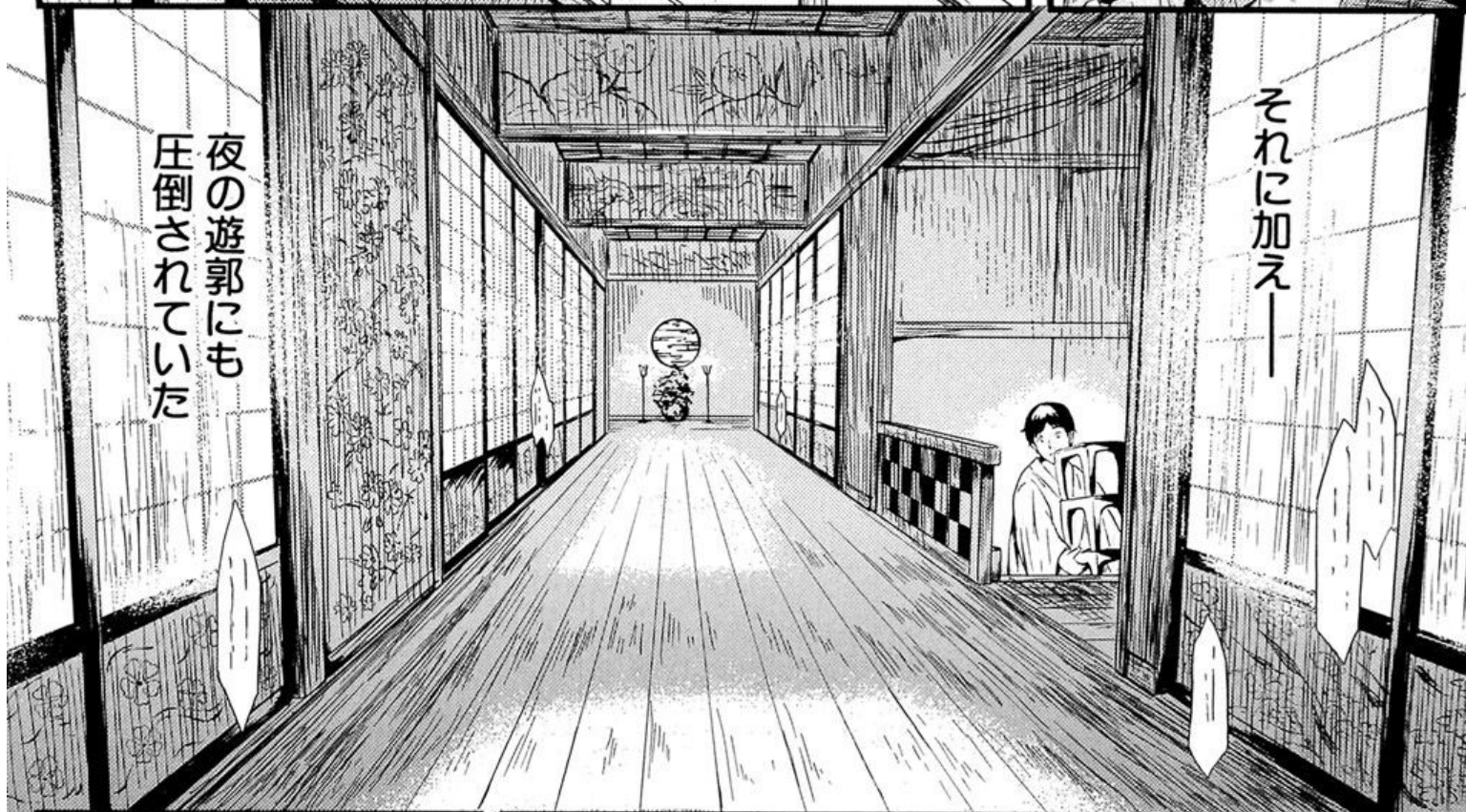
華やかな人だなあー





まるで目が
まわるような日々

華やかさとは対照的に
自分は大量の雑務に
追われていた



それに加え――

夜の遊郭にも
圧倒されていた



大倉様お食事
お持ちしました

まあもう大分
慣れたけど



体を売る――



遊女は客に
愛を囁き

ほれもつと後ろだ
そのままじゃ入らん

そうそこだ
ちようどいい

そのまま腰をおろして
全部いれてみせてみい

はい

おお
入った入った

情けなくずっぱり^くえ
こんでるのがよく見えるわい

なんだ早くこっちに
持つてこんかいっ

はい
申し訳ございませんっ



ほれ紫

どうだ
疲れただろう？

口をあけてみる
これでも食べさせてやる

あ……

まるで鯉の
ようだな
こうして餌付けするの
もなかなかおもしろい

なんともそそられる格好だ
味の感想でもいってみろ

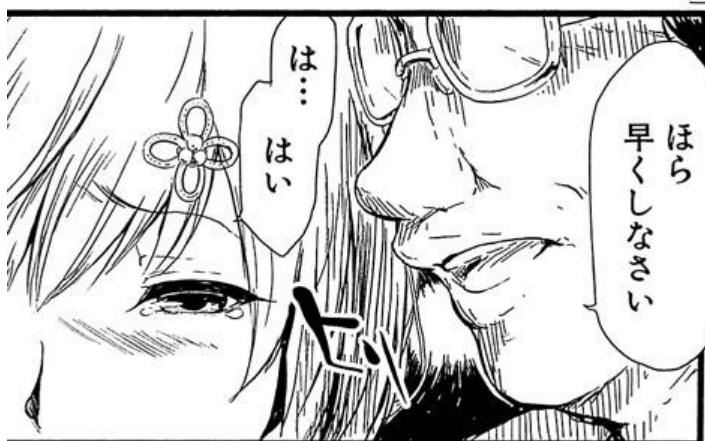
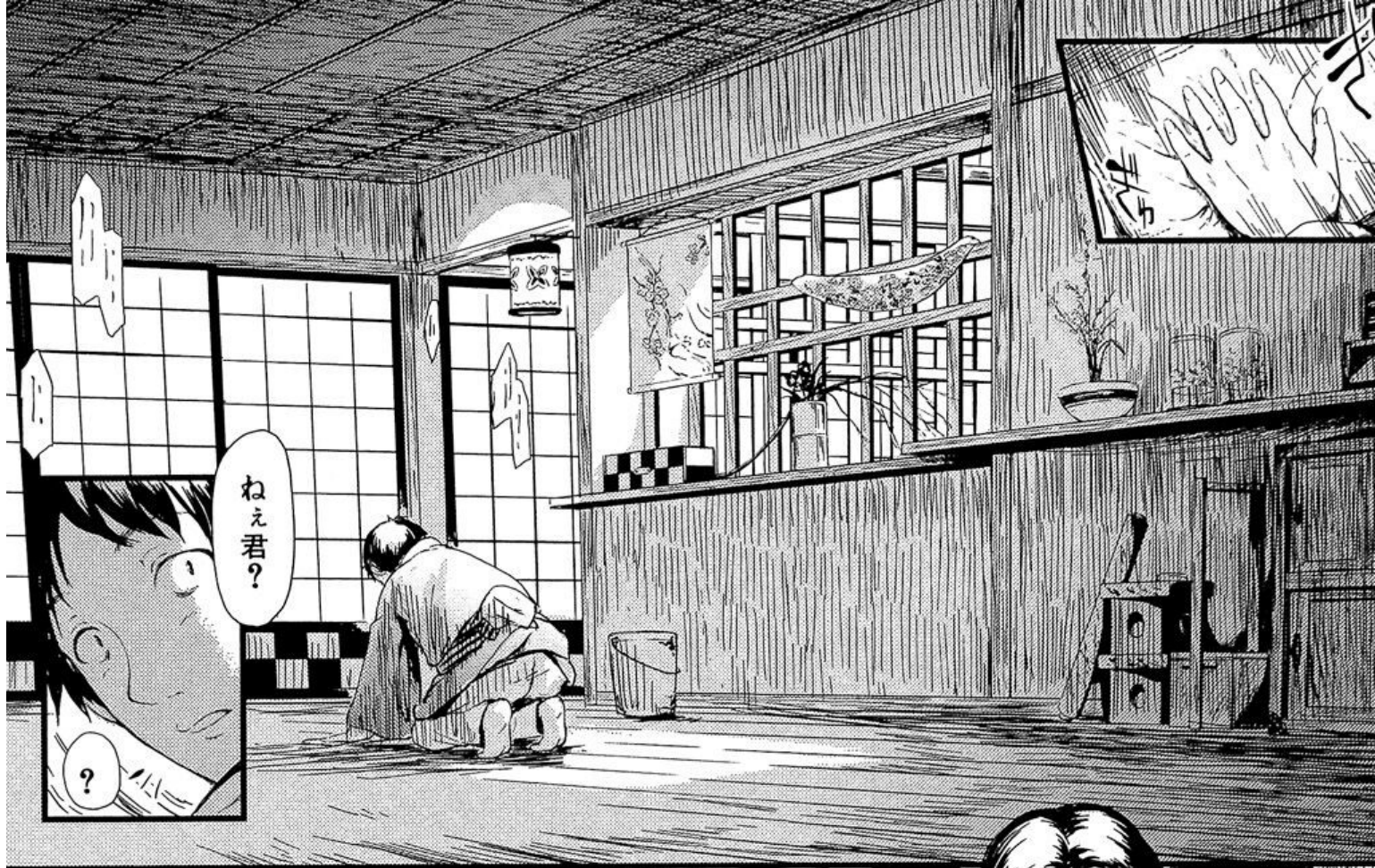
脂がのつてて……
とてもおいしいです……っ

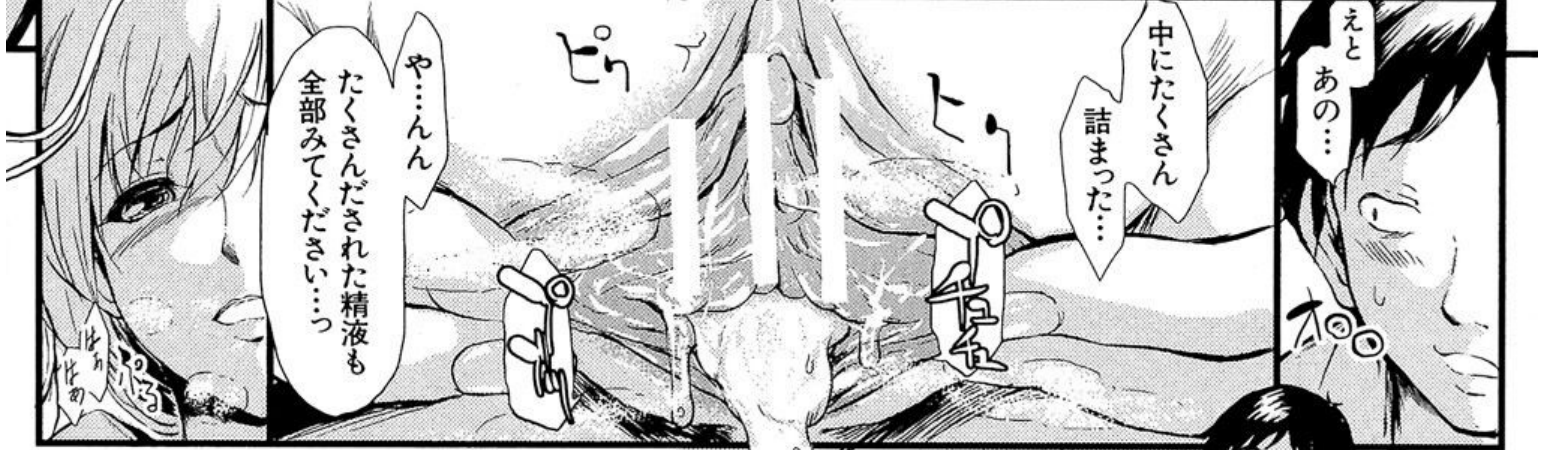
そうか
それはいいな

満足するまで たくさん
食べさせてやるぞ

……し
失礼しましたっ





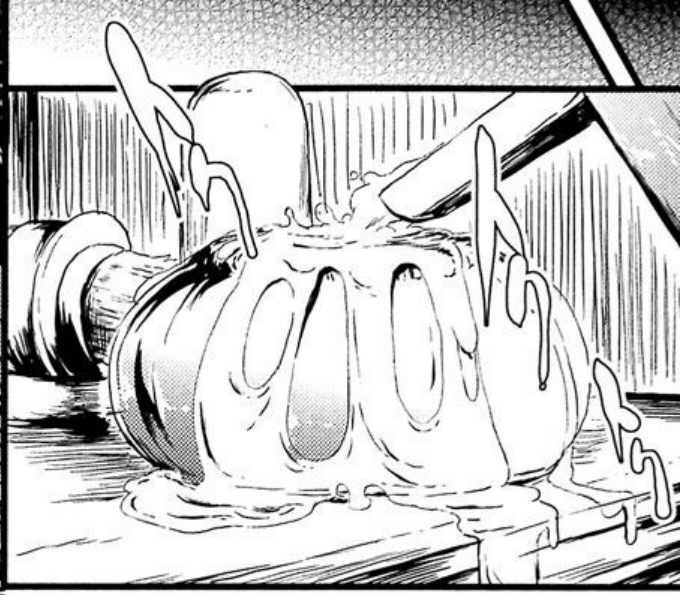


この人達が変なのか
それとも
自分が変なのだろうか

きつと一年中桜が咲く
この場所が変なのだと思った

お
お
お

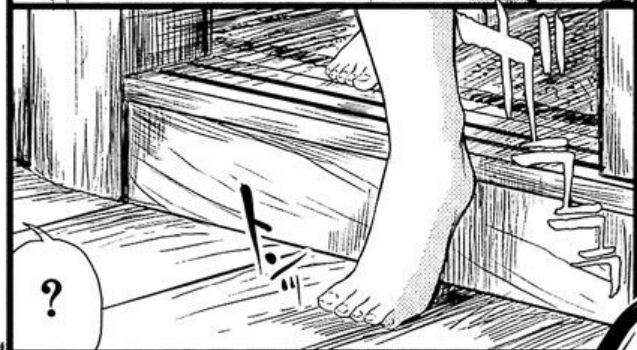
お
お
お



やっ
ああつ…ん

やっ…ああん







えっ…なんでもっ
今は男の入浴時間
のはずじゃあ…

ああ今日は男女の入浴時間の
入れ替わりの日なんだよね
聞いてなかった？

あ、あれ今日だったのか
す、すみません
忘れていましたッ

あららッ



目には目を裸には裸を
長谷部君も私達に全部を
見せてもらおっかなあ

え!?

それは……
その勘弁して下さい



朝日?



失礼するです

そんなに隠さなくても、
私達の裸をみて大変な事にな
ったやつてゐるのかなあ?



それは長谷部君が一方的に悪いなあ
私達の裸を見た責任はどう
とってもらおうかなあッ

本当…すみませんッ

おーやれやれッ

それじゃあ—



まあまあ
減るもんじゃ
ないし――

…………えと

想像と違うというか…
へなってるね

うぐっ



あー
ごめんなさいね

私なんかの裸じゃあ
興奮しないか
勘違いさんだね私

ち、違うんですっ

これは僕に問題が
あるといえますか…その



僕…昔からあまり
反応しなくて
今は驚いてたから
余計にといえますか…

すみません
なんか情けない話で

だから自分の問題で
藍葉さんたちは綺麗で
すごく魅力的です…っ

じゃあ

えと……

ごめんなさい



ごめんなさい…

ほら
朝日も離して
あげて頂戴

あ…



はいタオル
ちょっとお遊びが
過ぎたみたいだね

どうか
許してくれ

いえっ…もともと自分が
悪かったですし
すみませんっ



長谷部君



その
以後ないように
しますの…

あのっ
お騒がせして
すみません…



は、はい

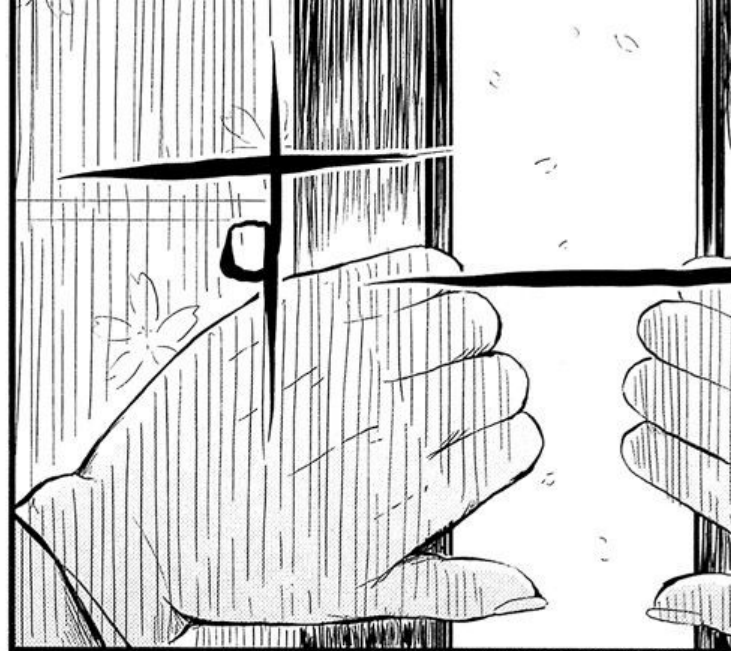
すみません
後で伺います



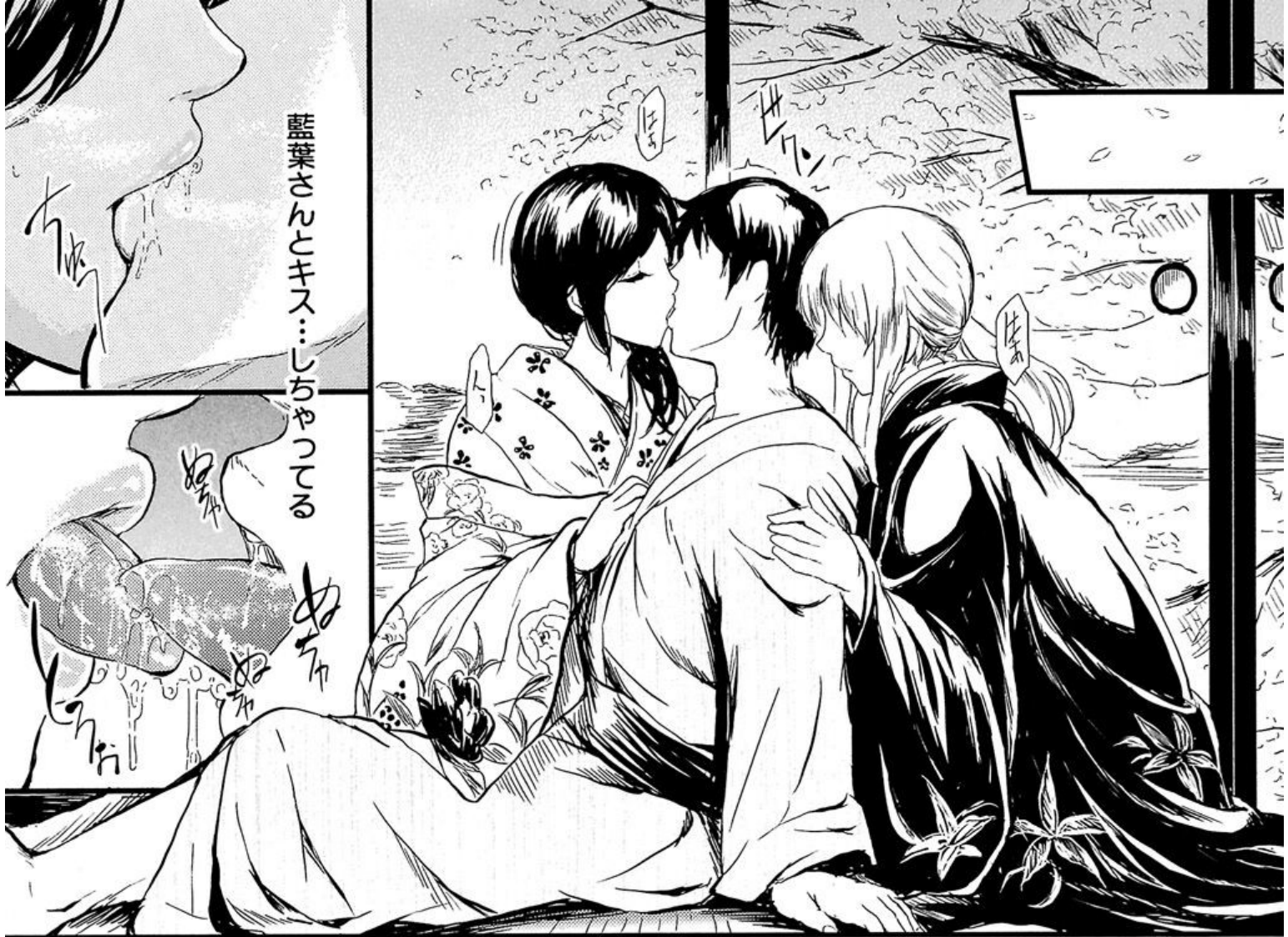
よかったら
後で私の部屋に
おいでよ

今回みたいなことが
おきないように
他の規則とかも
教えてあげるからさ









藍葉さんとキス…しちゃってる



ねえもつと…

ふふ 長谷部君の
涎の味知っちゃった

あ、あの…



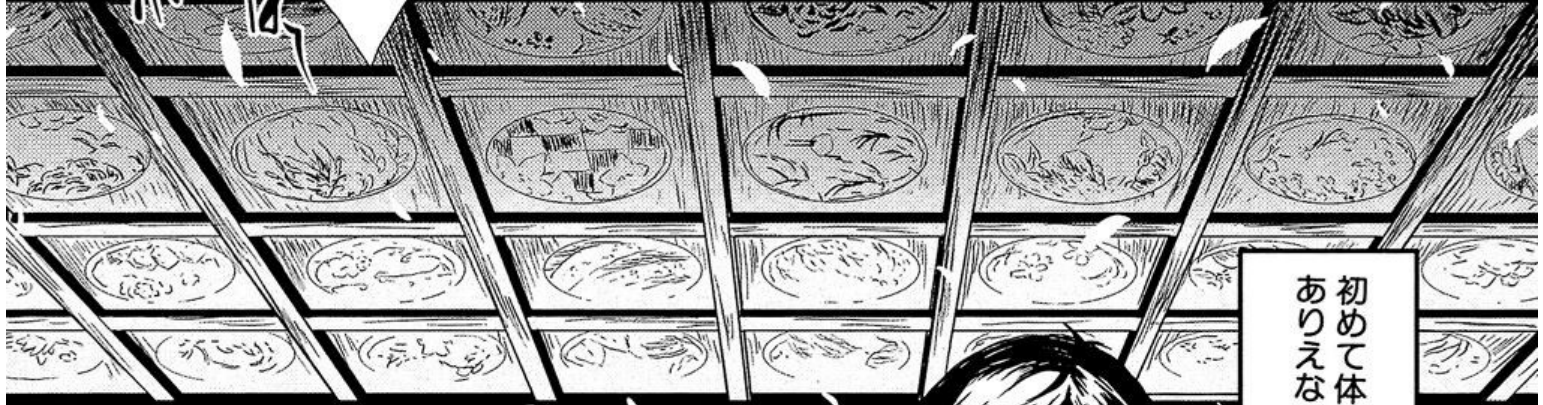
何かなにやら

もう本当…



それ…なんか
やばいですっ

うああっ!!



初めて体験した感覚
ありえないような光景



目がまわるみたいだった



これなら一緒に
あたためられますね

ふふ

僕…女性と
できるなんて
思ってませんでした



ほら……
先っぽから――

自分のものが女性の中に……!

貴方がゆつくり
はいつていつて……ッ



ふふ
心配ありんせん♪

さあ早く
わっちの中へ



はら
全部私の中に
入っちゃった...

長谷部君のしっかり
男の人としてできてるよ

むしろ思った以上に
大きくて驚いてるぐらい

本当に女性と
Hできてるっ...



ねえもしかして
長谷部君は初めてなのかな?

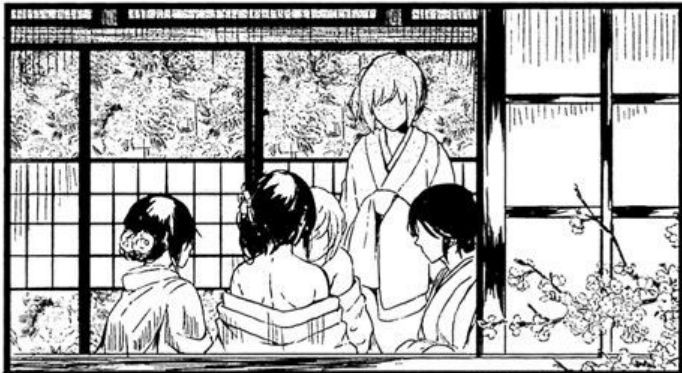
え...はい

あは
うれしいっ

じゃあいつぱい
気持ちよく
ならないとね









だけど僕には
充分すぎるほど
刺激的だった



遊女はこの島で
体を売るだけの
人たちだと思ってた

だけど彼女達は綺麗で
とても魅力的で



彼女達自身
楽しんでる
ようにも見えた





こんな世界は
知らなかった



◆END◆

行政指定風俗
営業特区——常春

常春

Tokoharu
〈第2話〉

そこは桜と遊女に
彩られた世界



どうして—

どうなった!?

あせ



あの…やっぱり
一回休憩を…

こんなに大きいままにしといて
何言ってるのよ
まだできるでしょ?



藍葉ちゃん達だけなんて
ずるいもんね
それとも私達では嫌なの?

いや…別に
そういう訳じゃあ…



もう、あんまり
無茶しちゃ駄目じゃない
二人とも

ちゃんと
私の分まで
残しといてね



ふふ

なら大丈夫よね



彼女達にとっては
普通なのだろうか



あはっ 奥まで響いて
いい感じだよ

ねえどんな感じ
彼のち●ぽ？

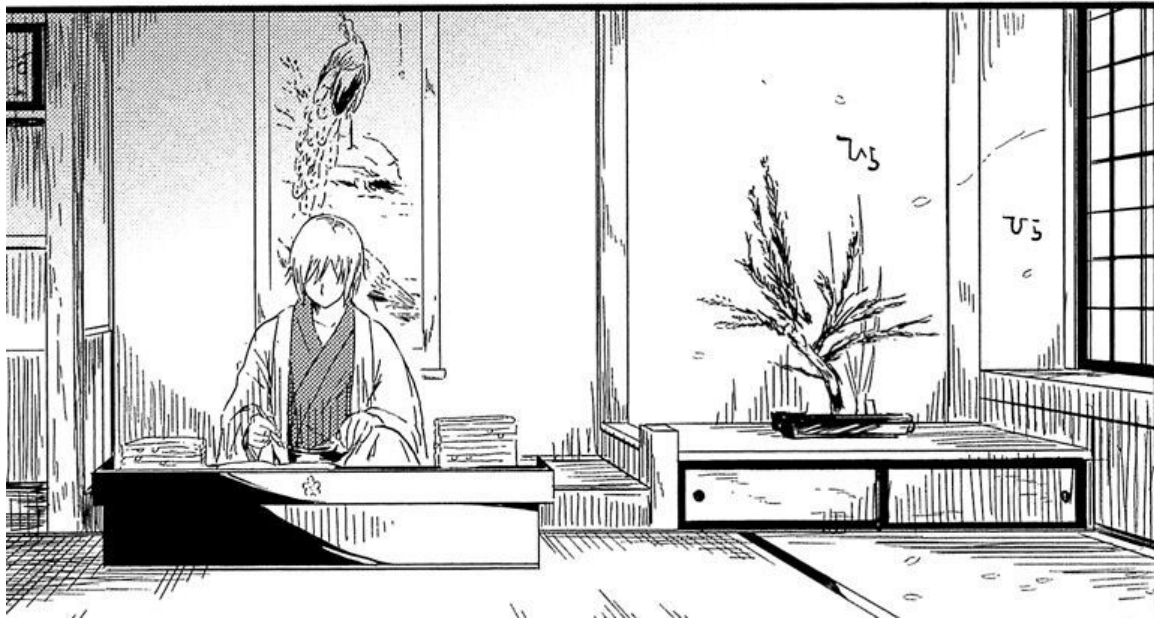
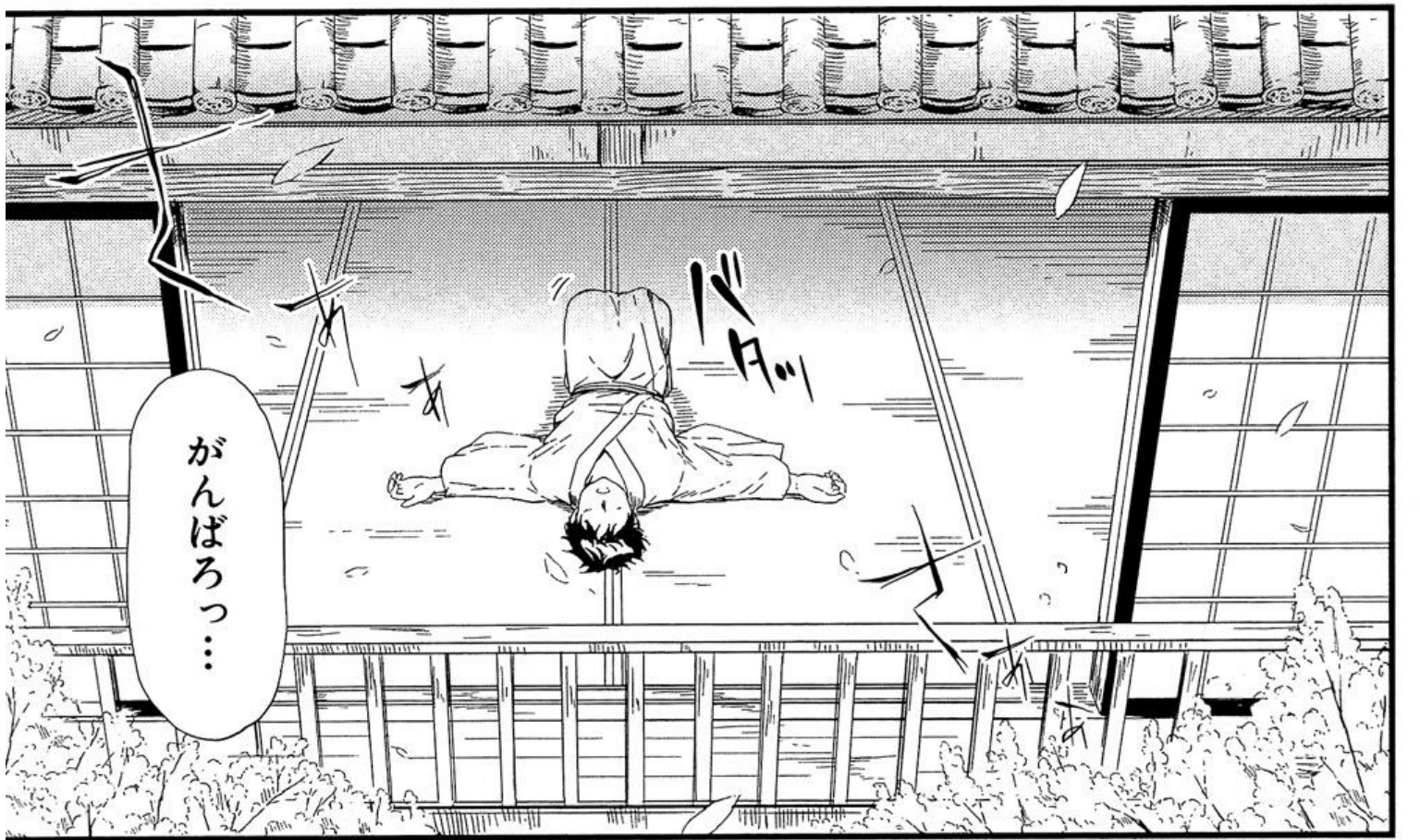
この行為をまるで
日常の一部のように
してるみたいだ













はるかぜ
春風様
いらっしやいますか？

ああ
なんだ？



今日の宴の時刻を
一刻ほど
早めよとの事です

予定よりも早くお客様が
お見えになられた
みたいです

そうか、すぐ
手配する

楼主様からの言伝を
預かっております

親父？

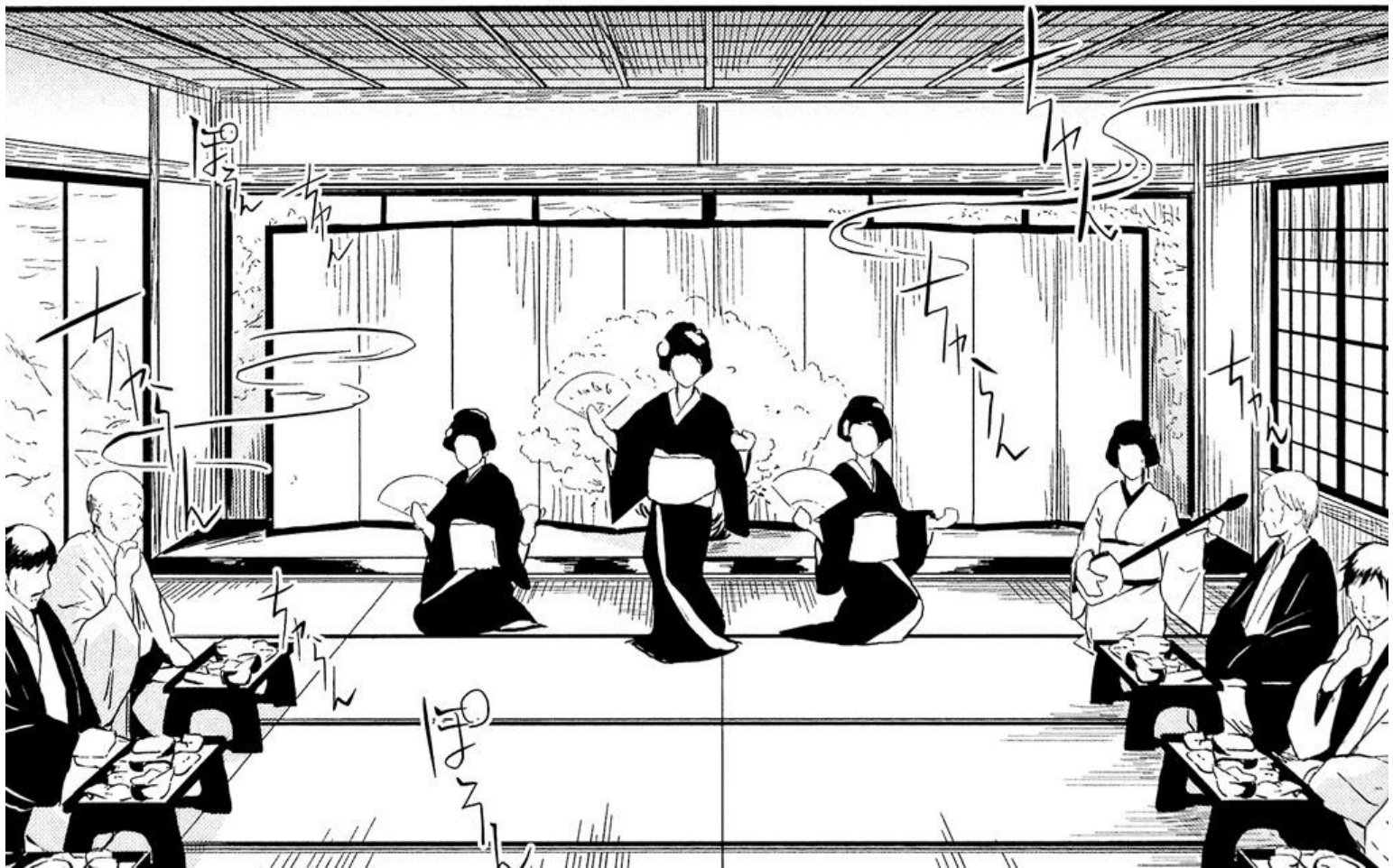
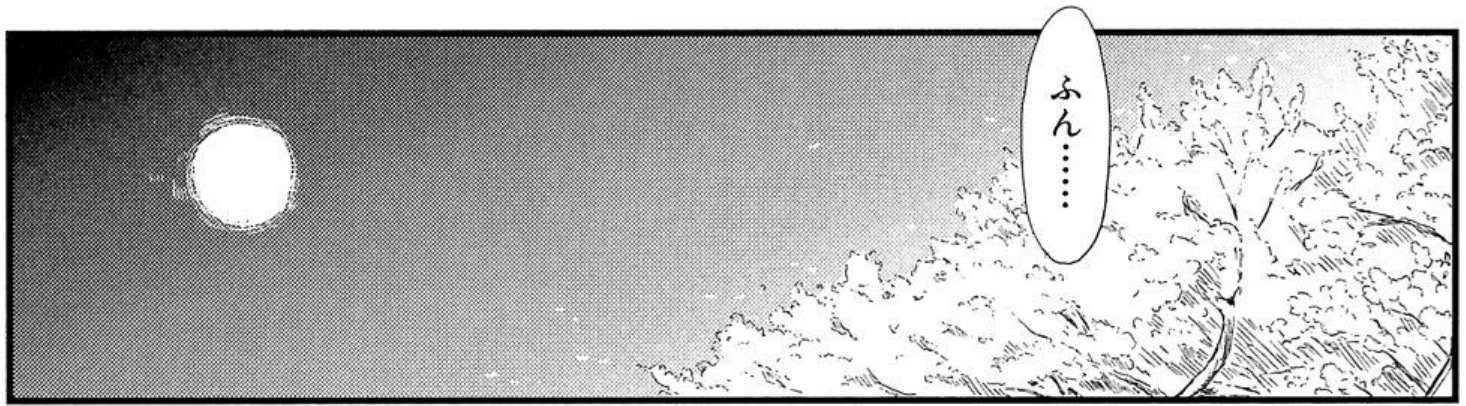
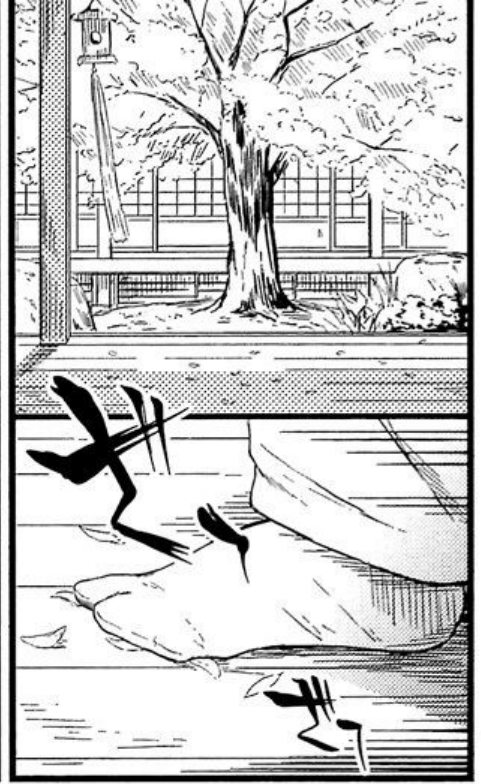
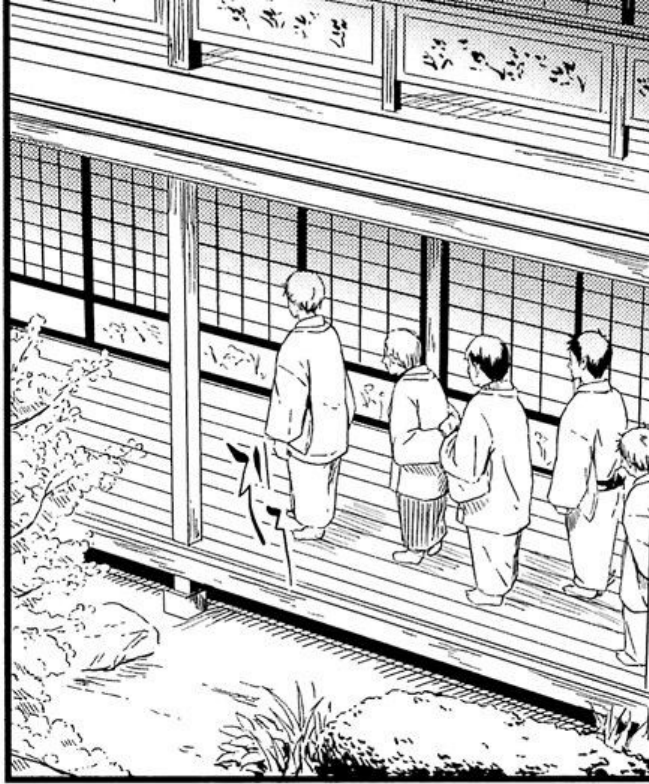


ゆきぎり
雪霧、今日がお前の
はつせ
初競りの日だったな

はい、
そうです

……
わかった
下がれ

……はい
失礼します



皆様、今宵はお集まり頂き
誠に有難うございます

いつもご晶^{ひいさ}屑^{くず}して預^よいてる皆様に
我が楼期待^{しんぞう}の新造^{しんぞう}を是非水揚げ
して預^よきたい

うちとしても大いに期待
している新造です
皆様のお目にかなうことを
信じております

楼主 吉良翔治

字^{あざな}は雪霧^{ゆききり}です





では雪霧が水揚げされる
資格があるかを確認して
頂きましょう

いいな、
雪霧

はい……

旦那様方

どうか雪霧が旦那様に
初めてを捧げる事ができる
身であることを――

その目で、しかと
確認して下さいませ

正真正銘男を
知らない体でございます

それでは少し
わかりにくいのお

もっと大きく広げて
みせておくれ

申し訳ございません

精一杯広げますので
私の女の部分を全部見てください

おおこれで処女膜まで
全部見えるようになったぞ
いやらしい形をしとるわい

ありがとうございます
ございます

いつ見ても新造の
初心な姿を見るのは
堪りませんな

こちらも冷静に
判断できなくなつて
しまいそうだ

ふふ、皆様
ご心配なく

皆様がしっかりご判断
できるようにいつも通り
用意させて頂いてます

春風



おひろめ
御披露目だけで終わらせては
遊郭の名折れでございます

おお



夜も始まり常春が
最も賑わう時

甘盛菜とは
運がいい

あら
うれし

ちやいほ





もう煽てたつて遊女
以外何もできませんよ

こんなに気持ちいい
接吻は久しぶりだ

やはり藍葉は
いいな



んん！
あッ



いやいや体も全部
私好みなんだよ

まあ♪



今日の宴は私が主役では
ないので仕方ありませんが――



そんな事仰られても今日は
雪霧の宴でいらっしやっただんですよね？
それでは言葉に重みがありんせん

ははは これはすまない
次は必ず藍葉だけに会いに
来るよ

……本当？

私が側にいるときは
私だけを見て下さいな



三人も並べさせると
さすがに壮観だな



やはりいい女に
奉仕させるのは
良いものだわい

もう家内では勃起
すらせんわ

一度この味を知ってしまうと
妻なんかではとてもとても

ふふ、全くだ







随分とよがつてる
じゃないか

こんな娘でも尻穴で
私を受け入れるとは

しかしさすがは扇屋の遊女と
言つたところかな



これ
すきい...ん

お尻のおち●ちんが
子宮押しして気持ちいい
もん♪



朝日は見かけに
よらず好き者
だからなあ

ほほほ
とんだ淫乱娘だ



朝日は体が軽くて
動かしやすいな



だったら—

マ●コでも直接
刺激するとどうなる
だろうか？



ああっ

これ
だめええっ

二つの穴いっぺんに
ひっかかれてるッ



ふふ駄目なら
やめとこうか？

やっ..
やめるのは
もっとだめっ

だったら素直に
感想をいってごらん

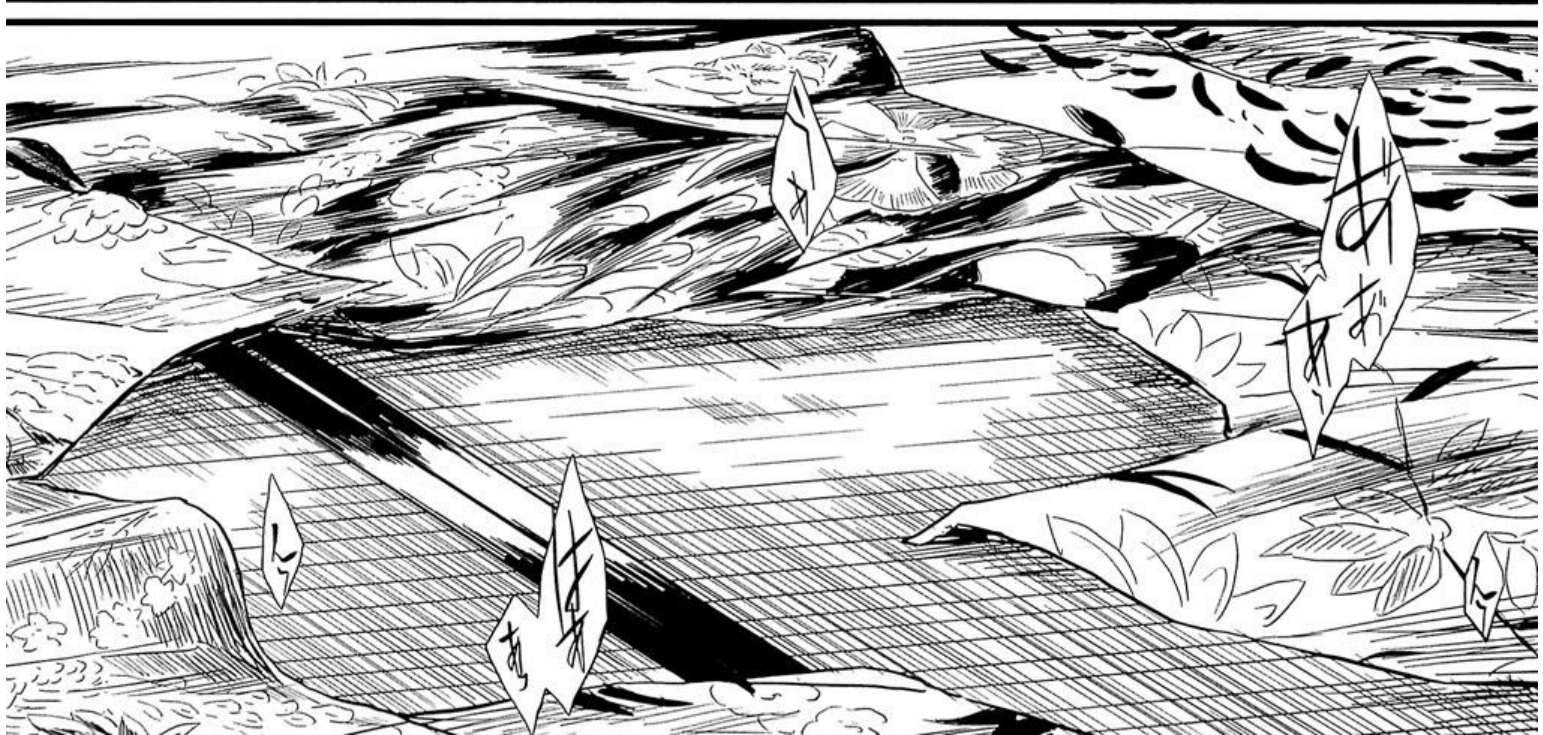
おなか
いぼは...ッ

ぐもろ
です











どうか旦那様の精液を雪霧に
おかけになって下さいっ



おー
でるでるっ



扇屋の宴はいつも
趣向が凝つてて
素晴らしいな

大倉様にそう言つて
頂けると幸いで
ございます

ふふ 競りも存分に
楽しませてもらうぞ

是非よろしく
お願いします



雪霧、
他の旦那様方にも
お願いしないさい

はい



今宵は皆様に
お会いでき
大変嬉しく思います

雪霧はまだまだ
旦那様の温もりを
肌で感じとうございます
どうかー

おも足非



何も知らない真つ白な雪霧の
体を皆様の熱い精液でいやらしく
染めあげて下さいませ

素晴らしい宴だったよ楼主
雪霧はどんな高値でも
かまわん遊女だな

私だっていくらでも
積みそうだ

皆様有難うございます
別室にて競りの場を
用意しております
どうぞよろしく願います

扇屋にはこれから
最前にもさせてもらうよ

は、光栄で
ございます

ほれ雪霧
皆様にお礼を言わんかい

旦那様

本日は誠に
有難うございました

◆END◆

町はずれの
崖の上

そこが僕達の
秘密の場所だった――



これやるよ
雪

え？

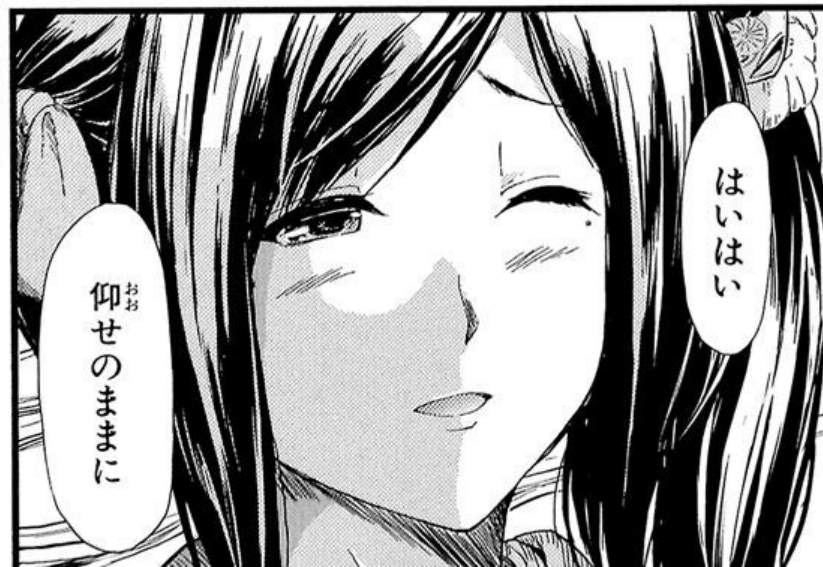
お前はなんていうか
地味だから――

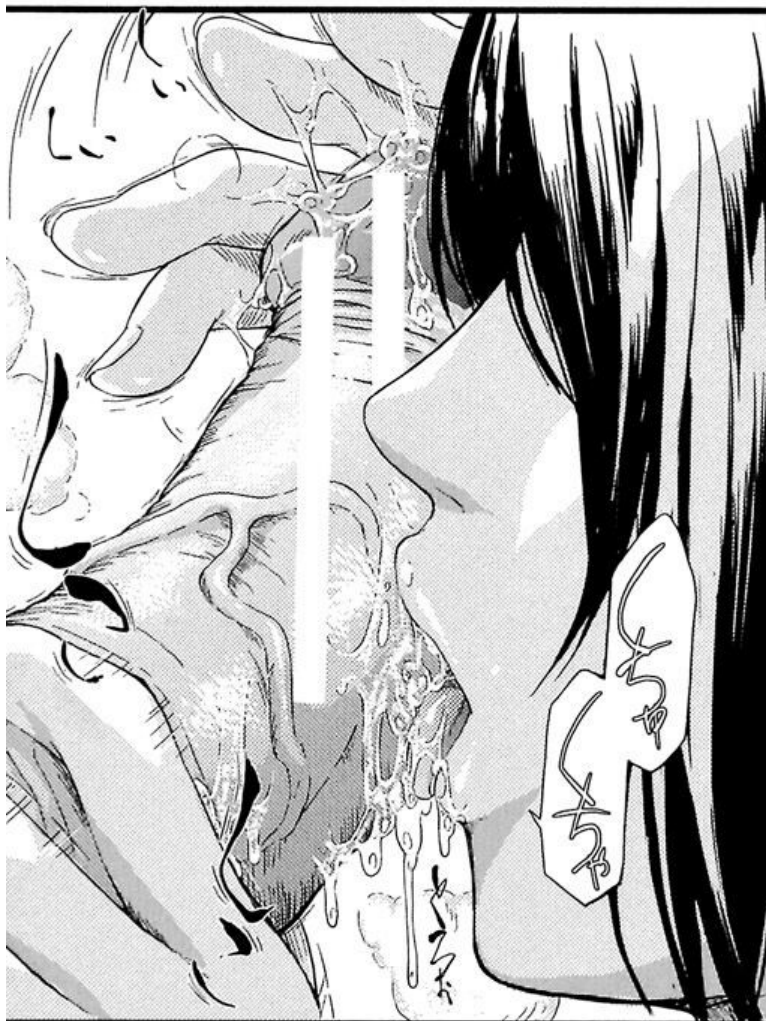
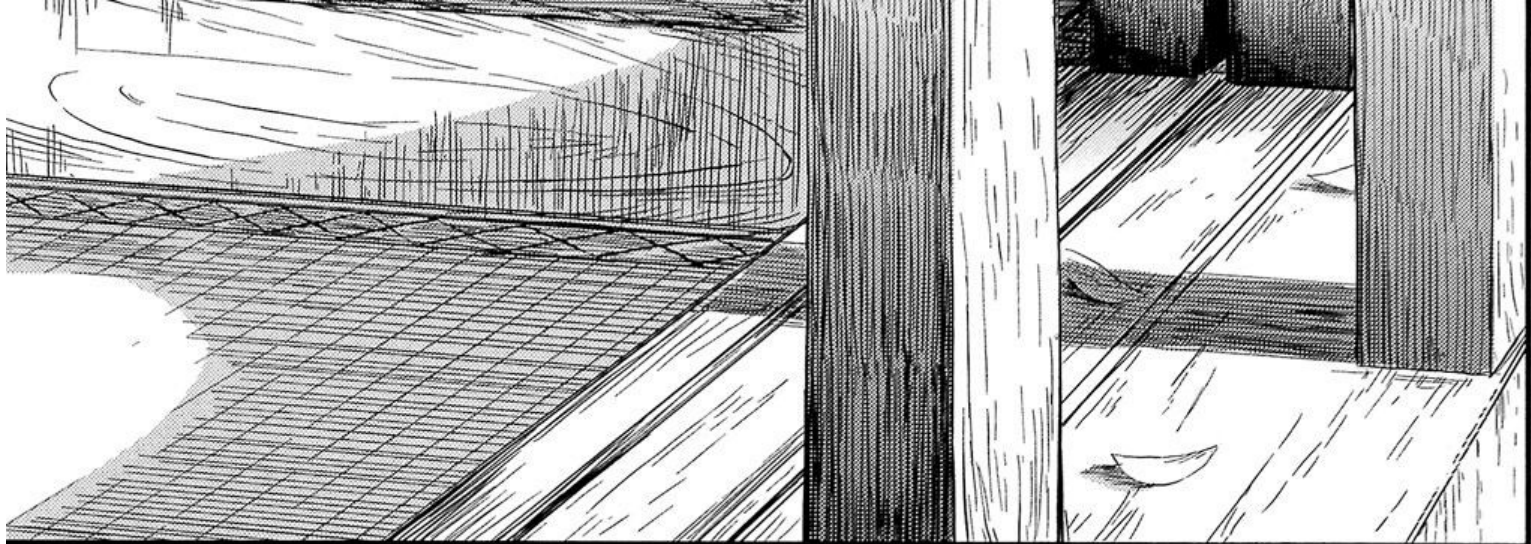
それだと立派な
花魁おいらんになれねえから
それつけてろよな

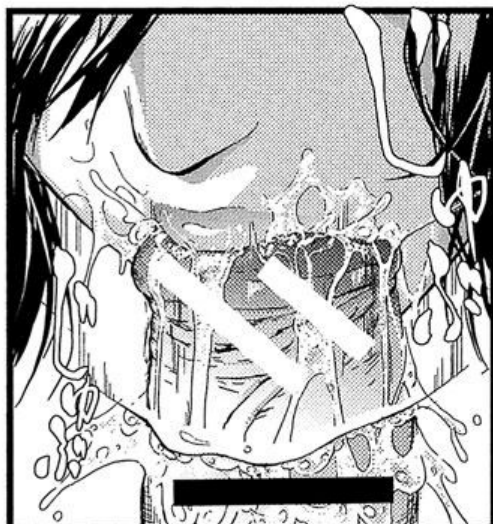


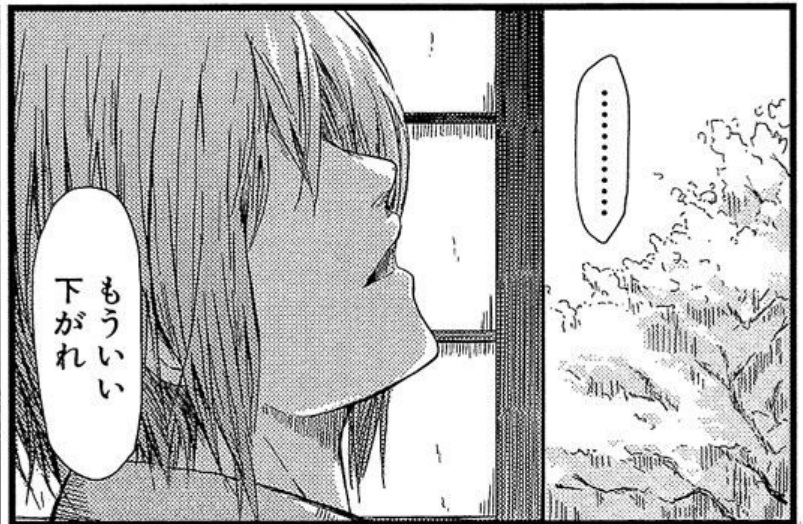
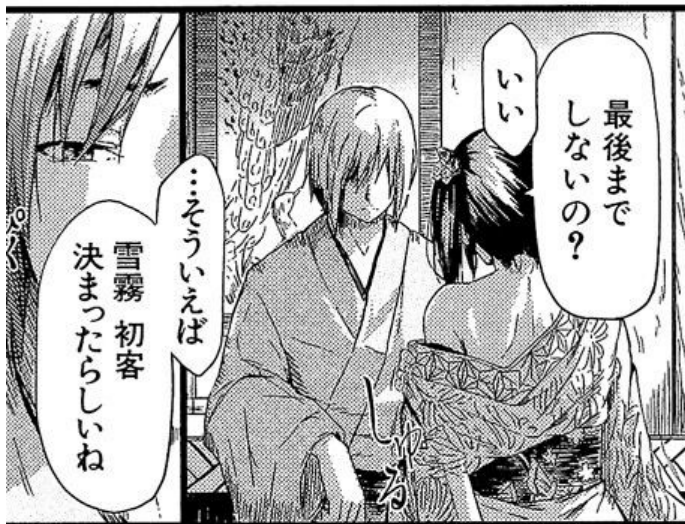
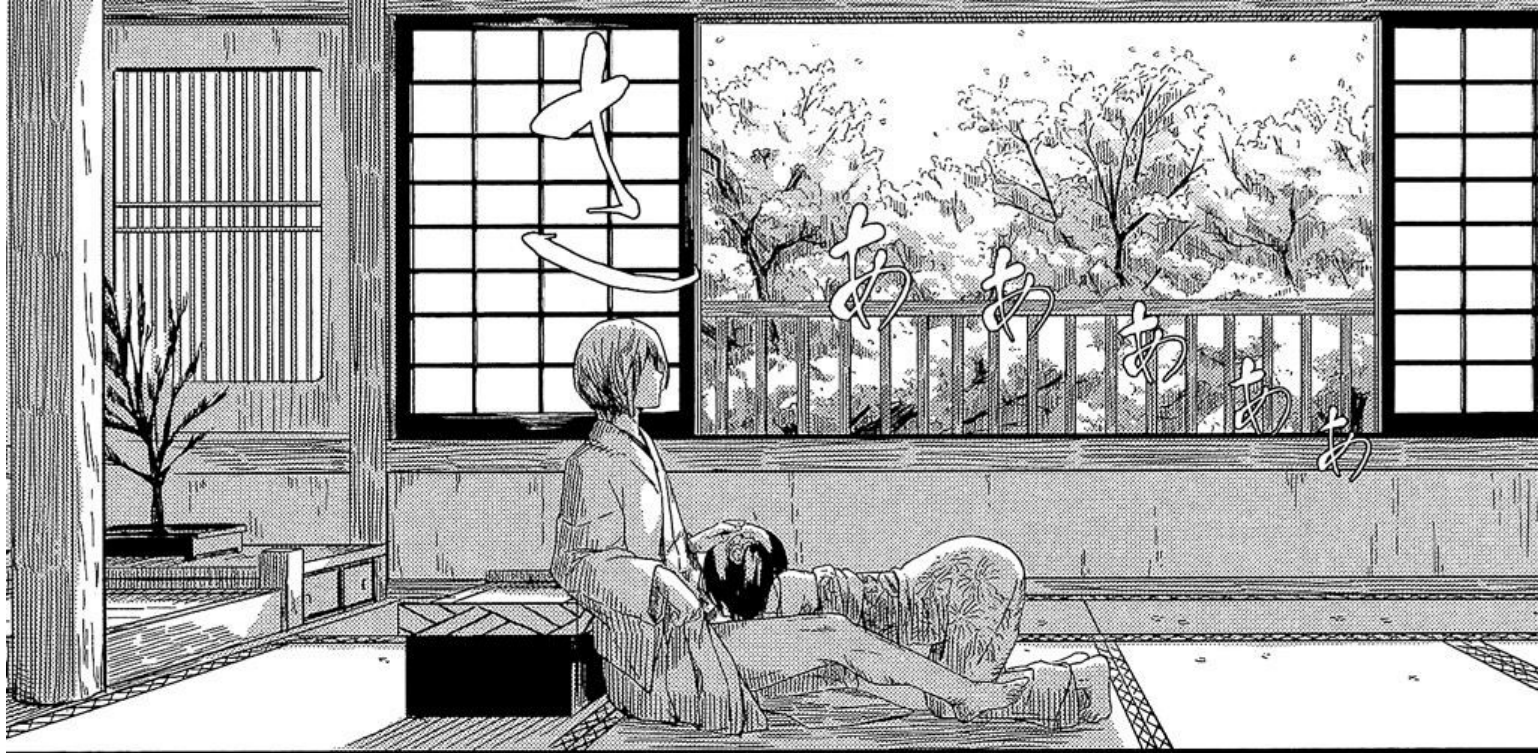
ありがとう
春ちゃん！

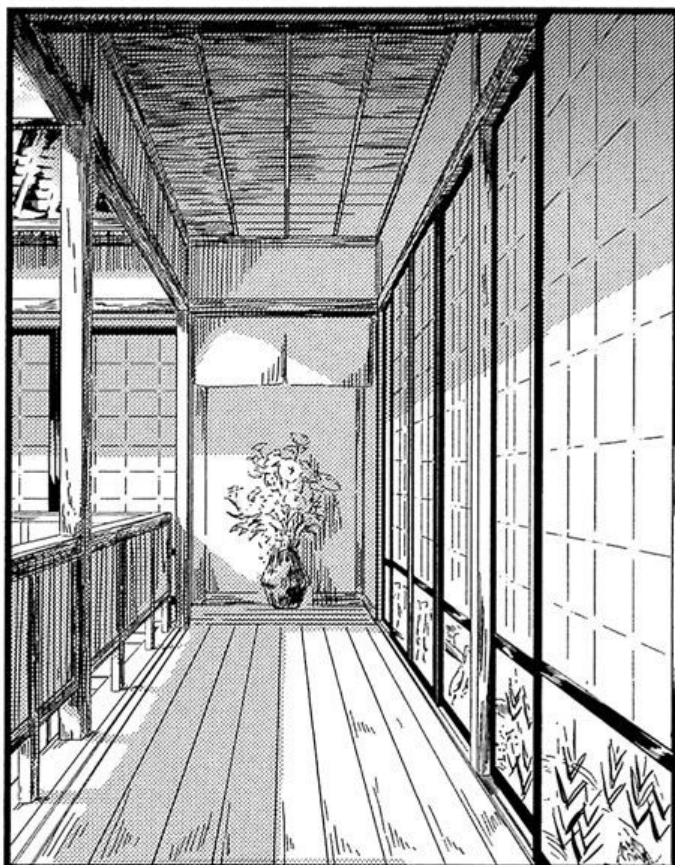












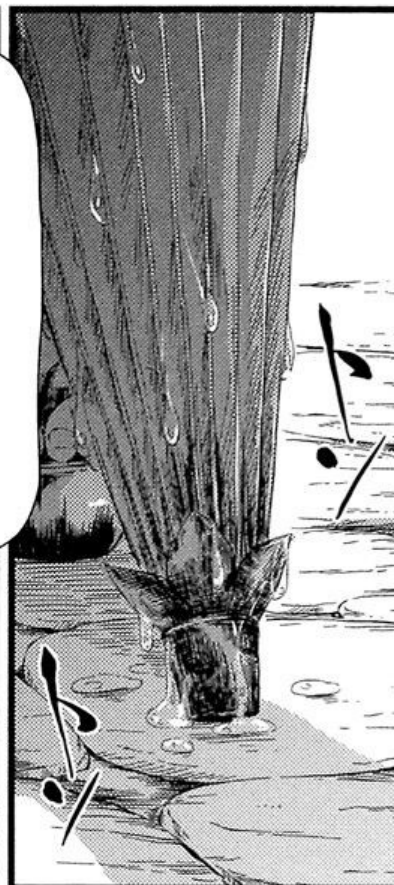
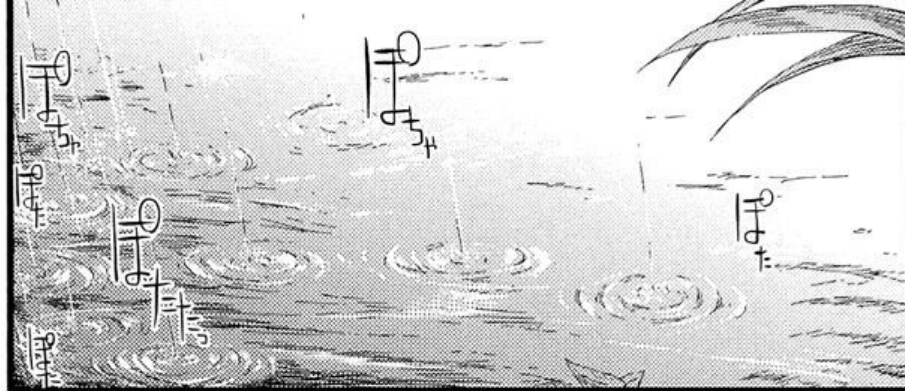
あてがわれた小さな部屋
染み付いたお香の匂いも
華やかな装飾も――



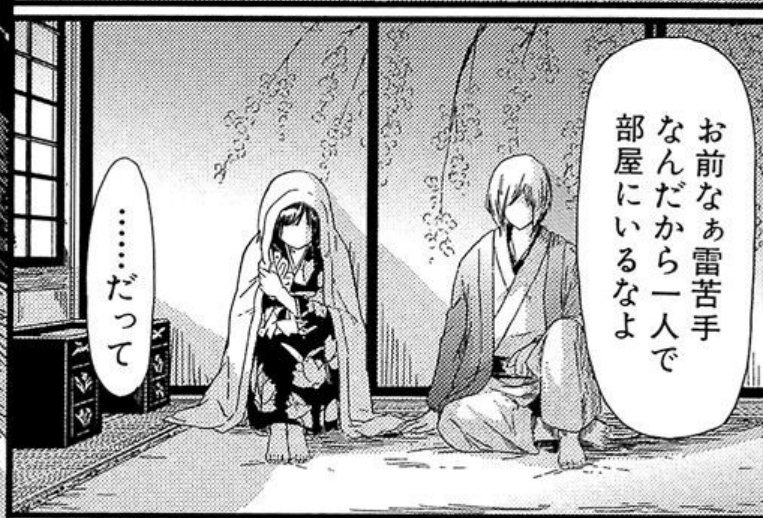
籠の中
みたい——

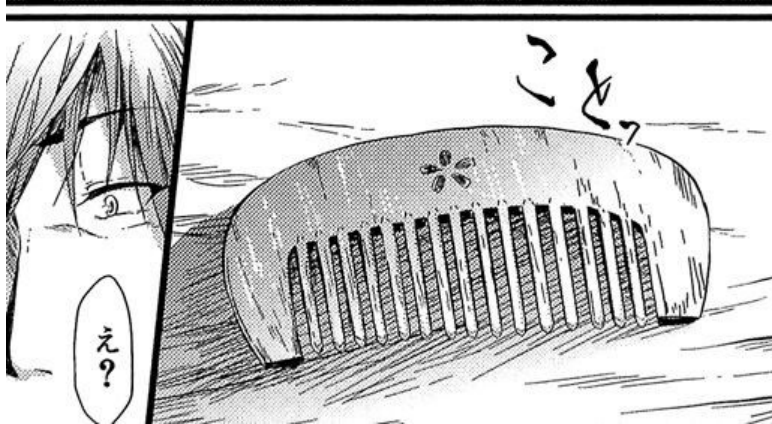


私にも馴染んでは
くれない気がした













嫌です



捨てろって
言ってるだろ!!

私にはこれから
ずっと大事だから

これはとても大事な物
だから捨てられません





ゆるるる



お願いです……
これだけは……



勝手にしろ

ッ!?

春ちゃん!?





うるさいぞ…お前
少しは黙ってろよ

お前は遊女なんだろう？
だったら黙って男に
抱かれとけ

春…ちゃん？

頼むから……

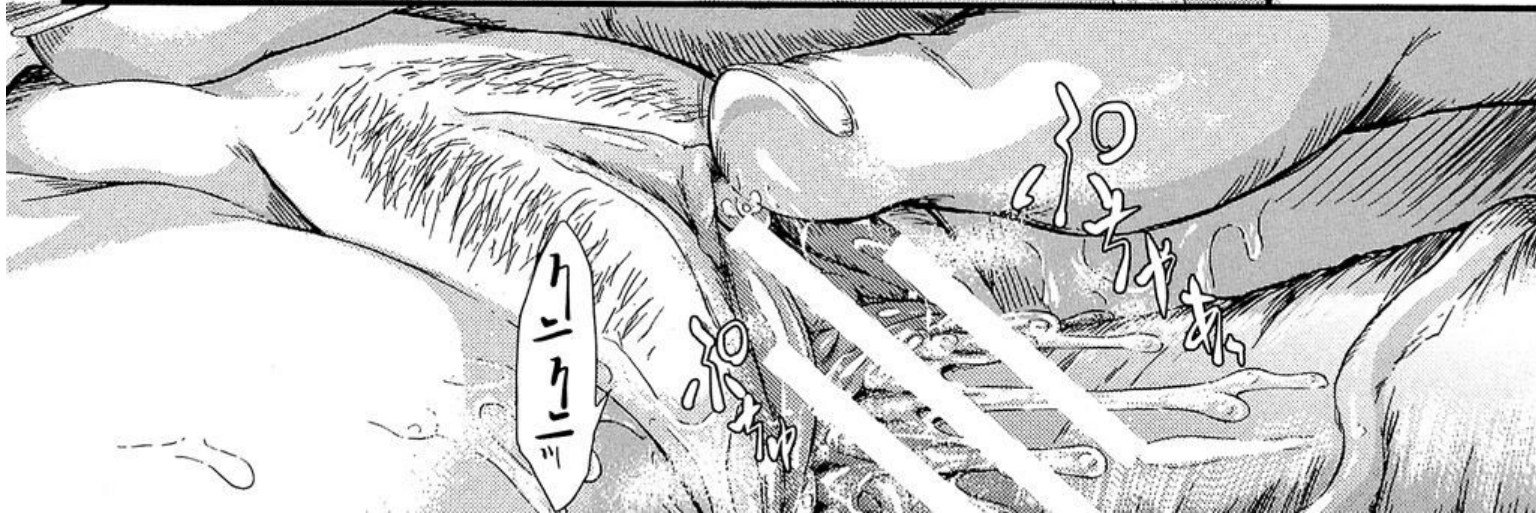
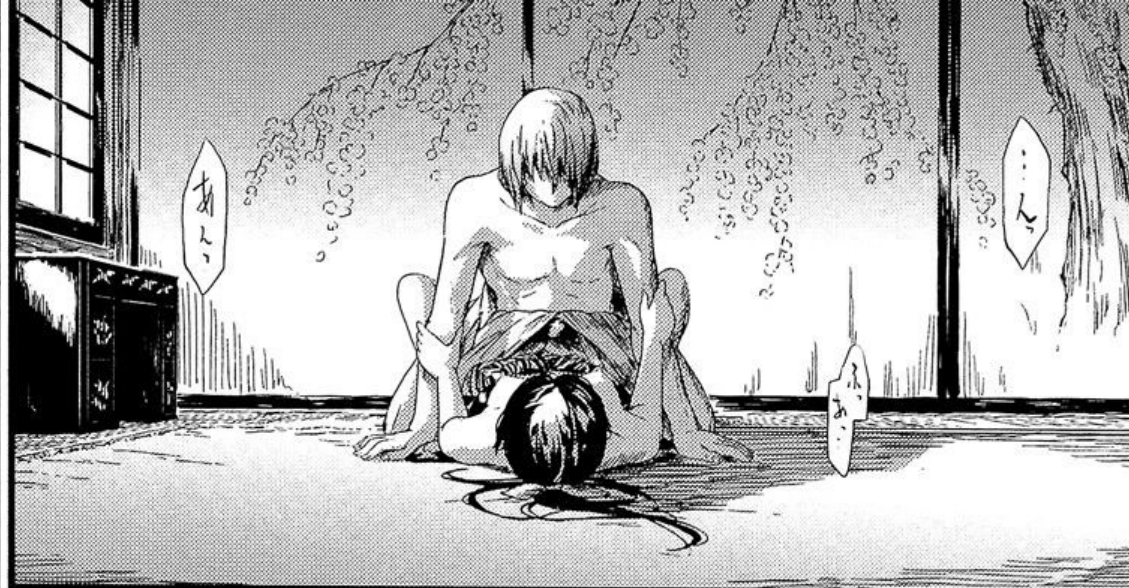




……ッ
私の初めて奪われちゃった











今日だってどうして
私の所なんかに
来たの？



こんな事されても
私全然嬉しくないっ…

今日は一人でいたかったのに
一人きりにしてほしかったのに…

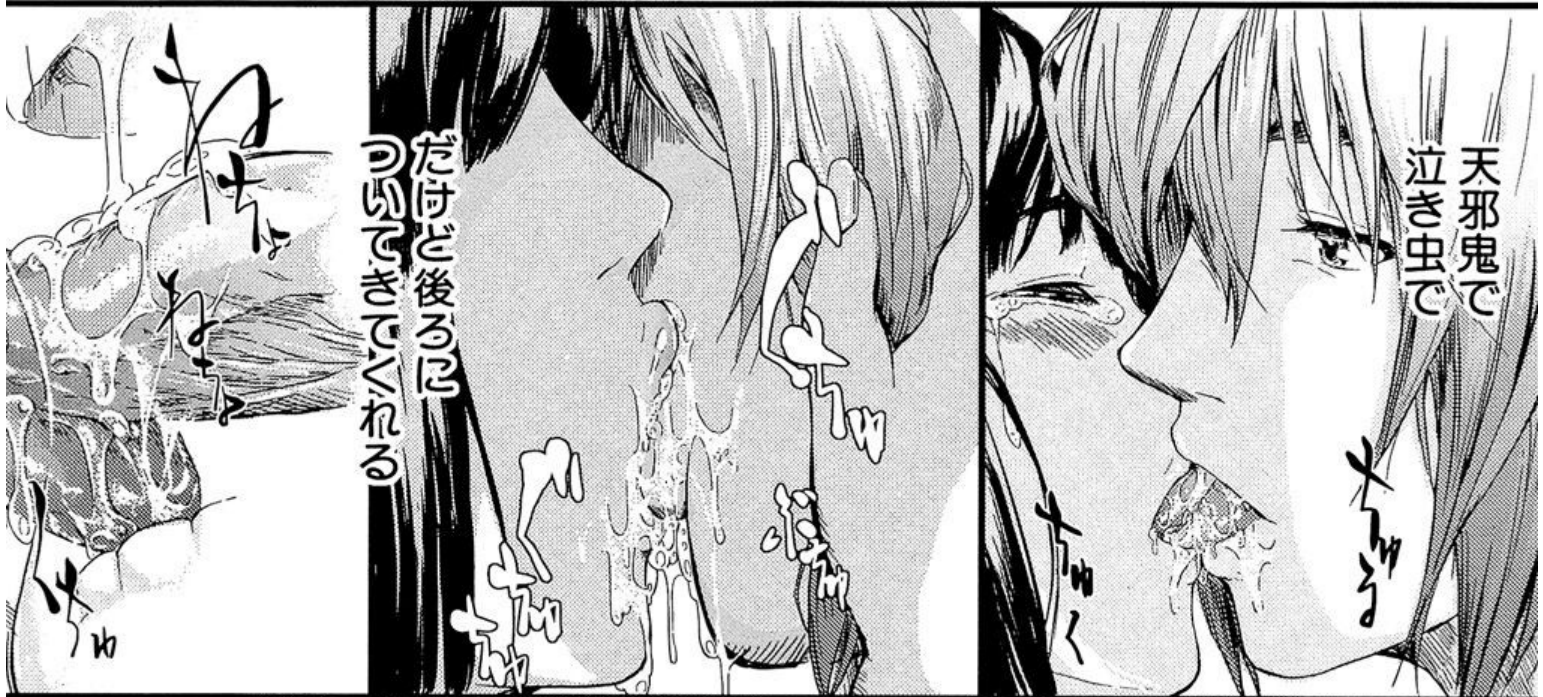


最低…

本当に最低だよ
春ちゃん…



ああ
そうだった

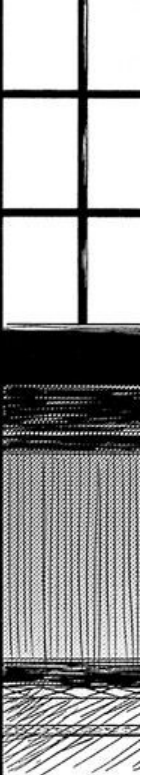


天邪鬼で
泣き虫で

だけど後るに
ついてきてくれる



こいつはどういう奴
だったな



春ちゃん……





お前が聞いて
きたんだろうが
子供か

いやっ……

私子供なんかじゃない…!!

これ恥ずかしい…



は、春ちゃん

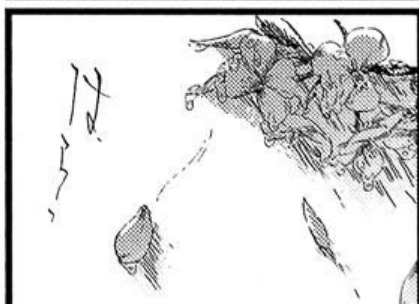
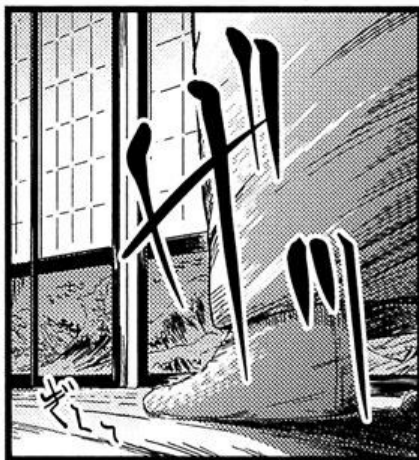
ちよと

まっつ…

!?







若旦那もまた思い切ったこと
したわよね 水揚げ前の雪霧に
手を出すなんてねえ

あ、その話やっぱり
本当だったの？

本当本当 馴染みの旦那さんも頭にきちゃった
みたいで両方とも折檻を受けてるみたい

雪霧なんて男達にどこか
連れて行かれたみたいよ

楼主から随分
目を掛けられてたのにさ
調子に乗った報いかもね

はは
違くないや

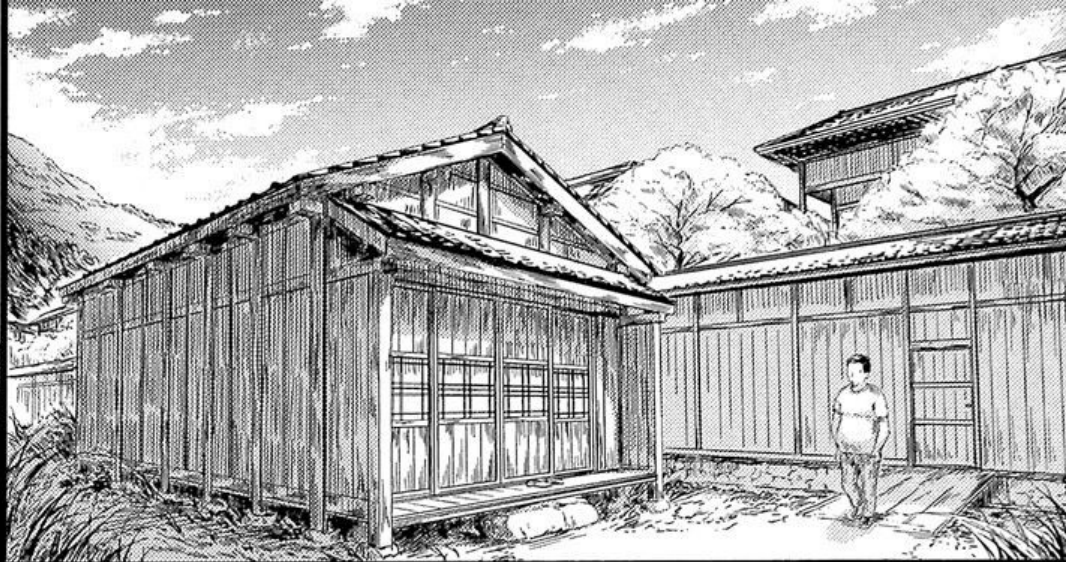
二人とも声が
大きすぎるよ

あら
御免あそばせく

あああああ



よお準備
できたかえ？



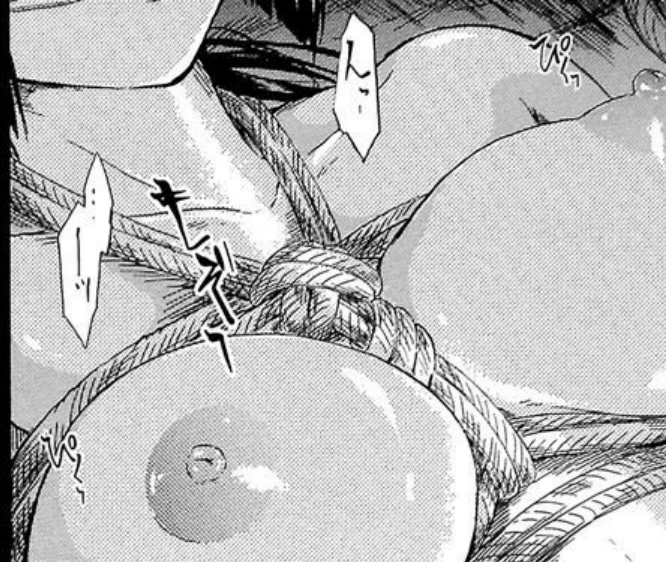
ええ言われた通り
最初は随分暴れてましたが
こうすりや大人しいもんです
しかしえらい上玉だ
こっちのほうも暴れちまいそうでしたよ

まあ慌てんなよ
これからたっぷり時間はあるんだ
それこそ嫌になるぐらいな

へへっ
たまんねえや

常春

Tokoharu
〈最終話〉



無理やり連れてこられ
着物をはぎとり
地面に転がされた――

悪いね嬢ちゃん
こっちも頼まれたもんで
仕方ねえんだわ

大丈夫
壊れない程度には
言われてるから

おまちかわよ

ほれ、これから世話になるんだ
ちゃんと挨拶しとけよ

ここは私の知らない場所だ

気持ち悪いっ…
男の人に触られるための体だったのに
今は触られた場所から悪寒が走る

へへ肌もすべすべ
こんな若い女抱けるとか
ここぐらいなもんだな

新造ついたらまだ
十代だからな
遊女の中でも一番若いわ

ねえどうしてこうなっちゃったんだろう
どうして…っ

春ちゃん…

よし結べたぞ
綺麗な乳首じゃねえか

ほくれ
よう伸びる♪





おうおう美人が
睨みつけると怖えな



お前さんも自身の立場は
わかってるだろうな
何抵抗しようとしてんだ
勘違いすんじゃないよ



これは罰だから？
私のせいだから仕方ないの？

涎を無理やりこのまされ
乳首もお尻も男に齧られて
感覚がぼやけていく



嬢ちゃん
縄からいやらしい
汁がこぼれてきてんぞ



随分感じやすい
みたいだな
気持ちよかったか？

ち、違うっ

ならちゃんと
確かめてみっかな



なんだよこれ？
ぐちよぐちよじゃねえか

指もすんなり
飲み込んで
膣もとろとろだわ

ああっ
そんなっ…
私…違うっ

エロい音ま●こから
聞こえてくんだろ？

えらく感じやすい身体
みてえだな
匂いも粘度も本気で
感じてるものだな

ほれお前さんの
味だ

私の内側を何度も
かき混ぜてくっ…

うあ…あっ
どうして…っ

自分だけ気持ちよくなんて
虫がよすぎるわな遊女さん
次は俺達を気持ちよく
させてくれよ

嫌悪、屈辱、諦念の
どろどろとした感情の中

どうして身体は男達を
こんなにも簡単に
迎えてしまうのだろう…



もっと舌
絡ませろよ

膣最高にきつきつ
こりやすぐに
もってかれそうですわ

二つのチ●ポを
咥え込んだのは
初めてだろ
堪能させてやろうや

膣の壁ごしに
ごりごり擦られてるの
よくわかるだろ？

身体の中ち●ぽで
何度も掻き回して
やるよ



うお出てきた出てきた
何だこの精液の量二人とも
どんだけ出したんだよ

ははは



いや……っ

嬢ちゃんには
まだたっぷりと折檻を
受けてもらわんな



こりや身体のほうが逸品ですな
本当絞りつくされそうでしたよ

おいおいまさかもう
出し切りか？
目的忘れちゃあかんぞ

この身体だと一発程度で
収まりませんって



もう……汚れたくない



やっと…っ
みつけた…はあ

はあ…
はあ
はあ



なんだよ
お前？

話は後でするから
今は少し黙ってて

…雪ちゃん



こんな格好風邪
ひいちゃいそうね
大丈夫かい？
つかったろうに

あい…はさん？

いいかい雪霧—

ねえこの子に
避妊薬は飲ませて
あるんでしょね？

ああ？そんなの
しらねえよ

：私持ってきてるから
なにか飲み物ないかしら？

ちよつと姉ちゃんよ
いきなり来て随分な
態度じゃねえかい？

何も俺達も好き好んでやってる
わけじゃねえのよ
頼まれた仕事としてこの嬢ちゃんに
おいたの反省をさせてるんだ

あんたならこれくらいわかんたら
遊女さんよ？

ただ俺たちも鬼じゃねえ
代わりがいれば嬢ちゃんを
休ませてあげてもいいぜ

…っ

さつき汚れたち●ぽだ
綺麗に舐めとってくれや

ほらこっちも
しっかり頼むわ

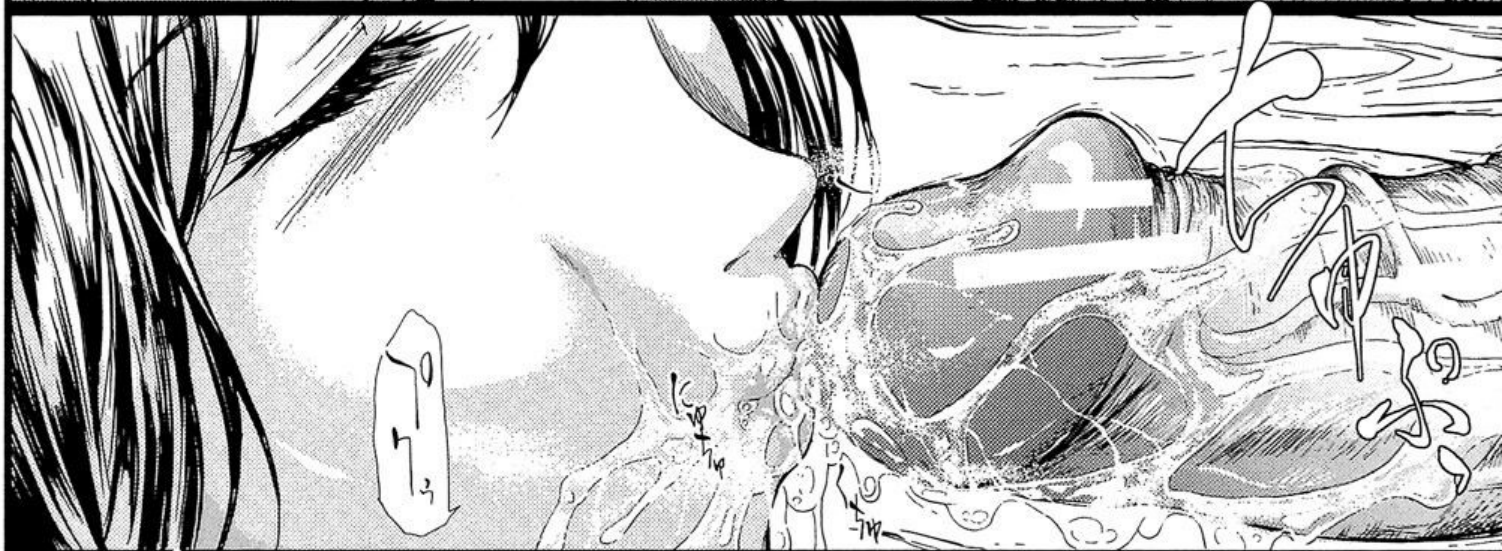
おっ舌つかいうめえじゃねえか
今日はタダでいい遊女とやれて
運がいいわ

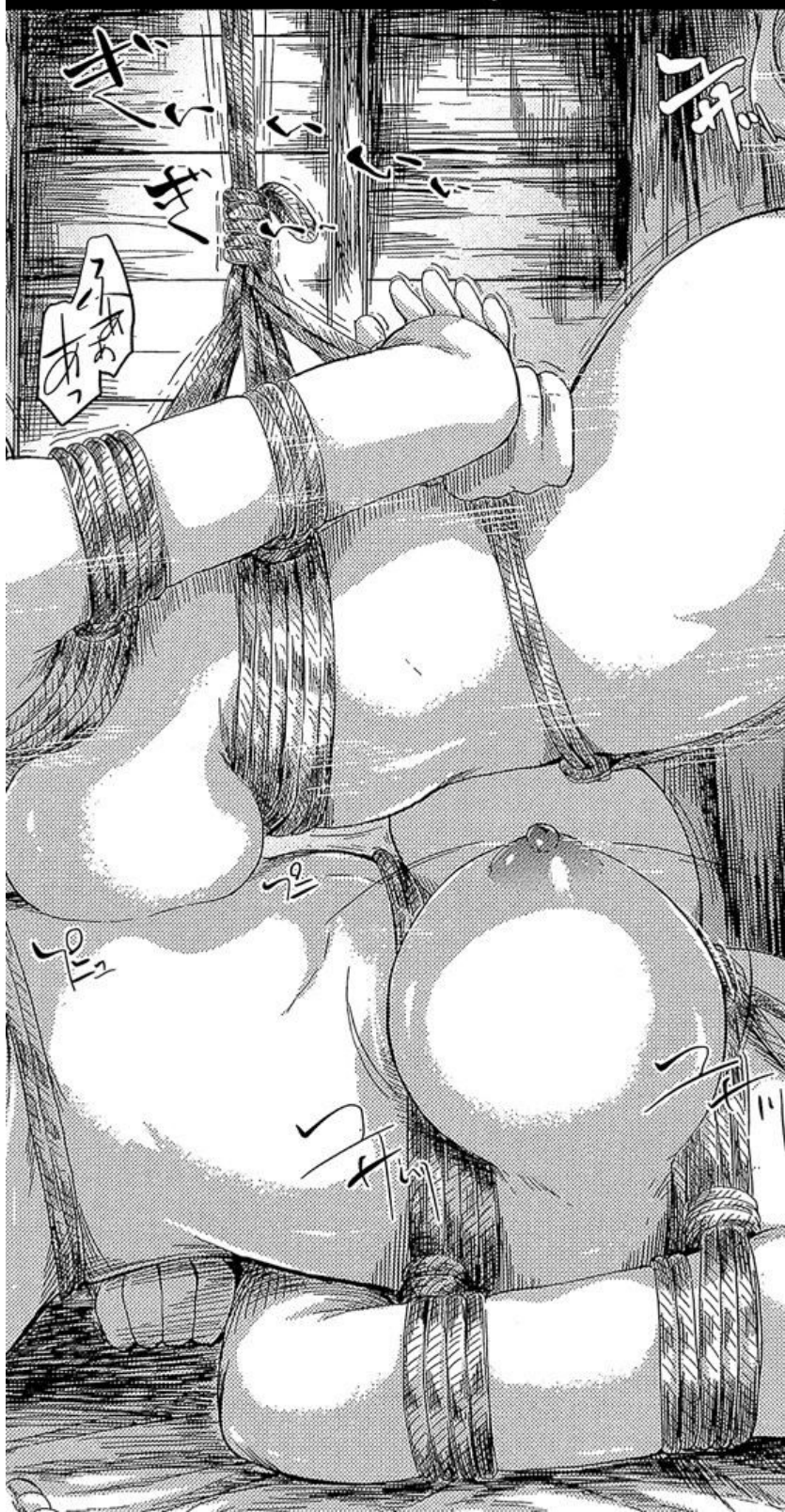
こいつも扇屋の遊女だぞ
お前じゃあその店に入ることすら
できねえから十分堪能すんだな

じゃあいつも金持ちのち●ぽ相手
ばかりしてるから俺のなんかじゃ
役不足かもしれねえっすね

うーん...

うおっさすが
いい遊女は吸い付き
が違うねっ





いやおやっさんのの方が
相手がばがばにさせてるでしょ
ただでさえでかいんだから

ボウ

ッ

この無理やり
こじ開ける感じが
いいんだよ

でもいいマ●コだぜこれ
デカチ●全部飲み込んで
もう俺のに馴染んでるわ

彼らはまるで
玩具で遊んでるみたい

いやおやっさんのの方が
相手がばがばにさせてるでしょ
ただでさえでかいんだから

この無理やり
こじ開ける感じが
いいんだよ

でもいいマ●コだぜこれ
デカチ●全部飲み込んで
もう俺のに馴染んでるわ

彼らはまるで
玩具で遊んでるみたい

いやおやっさんのの方が
相手がばがばにさせてるでしょ
ただでさえでかいんだから

この無理やり
こじ開ける感じが
いいんだよ

でもいいマ●コだぜこれ
デカチ●全部飲み込んで
もう俺のに馴染んでるわ

彼らはまるで
玩具で遊んでるみたい

いやおやっさんのの方が相手がばがばにさせてるでしょただでさえでかいんだから

ボウ

ッ

この無理やりこじ開ける感じがいいんだよ

でもいいマ●コだぜこれデカチ●全部飲み込んでもう俺のに馴染んでるわ

彼らはまるで玩具で遊んでるみたい

ッ

ッ

おいあんま無茶すんなよ
せつかくの若い身体を
がばがばにしたら可哀相だろ？

抵抗はできず
ただ身体だけが
勝手に反応する

おいあんま無茶すんなよ
せつかくの若い身体を
がばがばにしたら可哀相だろ？

抵抗はできず
ただ身体だけが
勝手に反応する



もう感じはじめてきて
やがるしこれで男の
チ●ポにも慣れるだろ？

そーいや嬢ちゃんはこの前
処女喪失したばかりなんだってな
いきなり濃い経験してんなあ



これも遊女の社会勉強を
させてやってるようなもんだ

せっかく身体を使って教えて
やってるんだ嬢ちゃんも
遊女らしく振舞わないとな



…っ
どうか…

ほらおねだりの
一つぐらい
できるだろ？

なあ？

どうかもっと
気持ちよくして
下さい…



ふう…二回目なのに
すげえでたなこれ



ああ、また精液
私の中にいっぱい…

いいぞ
そのまま尿道にある精液も
全部吸い取れ



ふー
やったやった



はは……違い
ない
出せるものは全部
つめこんでやったからな

ただ乾く暇すら
与えるなって
言われてるんでしたっけ

もう一滴もしほり
だせないっすわ

おい嬢ちゃん方
休んでる暇はねえぞ

何よ…あんた達
まだやるの？

まだまだ夜は
始まったばかりだ

問題ねえよ
ちやんと考えてある

お前さん達は遊女なんだろう？

しっかりと男達の
相手をしねえとな





お前さん方
こんな町の隅の店じや
たいした女も抱けねえだろ？

あーあれ
扇屋のときか...

なんだなんだ？
どこの店かイベントだ？

おめ

おめ



危いも
見せてくれ

だけど今日は運がいい
見てみろよこの上物

今日はこの遊女達がお前達を
格安で相手してくれるとき
気の済むまで抱かせてもらえばいい





うおっでるでるっ

あー気持ちいい

ちゃんと口開けて
精液飲めよ

うへ
顔中どろどろ



一回やってみたかったんだよね
小便飲ませんの
なんかくすぐってえ

ほらお前にもちゃんと
飲ませてやるって



ほら次つかえてるんだ
終わったらさっさと
どけっての

へへ：
何でもして
いいんだってな



今度は違うのも
飲ませてやるよ

え：



はーい
口大きく開けてねー

おい零すなよ
汚ねえなおい



便器扱いすんの楽しいな
なんか背徳感♪
全部飲み干せよ

休んでる暇ないぞ
こっちむけ

他のところも
使わせてもらうぜ



おいおい
しっかりこっちは
濡れてきてるじやねえか

身体のほうはもう
やる気満々か？

いやらしい汁
止まらなくなってるぞ



くそせつかく俺が
最初狙ってたのに...

じゃあ後もたくさん
いるからちやっちやっ
と
チ●ポ挿れちやおっか

せつかく綺麗な
マ●コなのに
今日でどれぐらい
使い込まれるんだろうね



まずは
一番乗りっとな

尻穴もすんなり
入るぜすげえ

はち●ポに串刺しに
されてるみてえだな









うわあ膣どろどろ
さすがにちよっと
反応悪くなってるね

一体何人相手したんだよ
体中精液まみれだな
子宮の中に何人の精液はいつてんだろな



おーやつと最後
終わったか

おい大丈夫か？



昨晚からしてたんだろ
来るの遅すぎたなこりや



いやあ思った以上に
人集まっちゃったな
だけど遊女としたら光栄だろ
よかったじゃねえか



おーいい感じに
なっとるじゃないかい

せっかくの初物を
楽しめなかったのは口惜しいが
これはこれで楽しませてくれる



これから更にわしが
かわいがってやるわい

ほらお前達
さっさと連れてくぞ

へーい



雪霧さん？

藍葉さん…？

うへ新道さん本
でいふわい







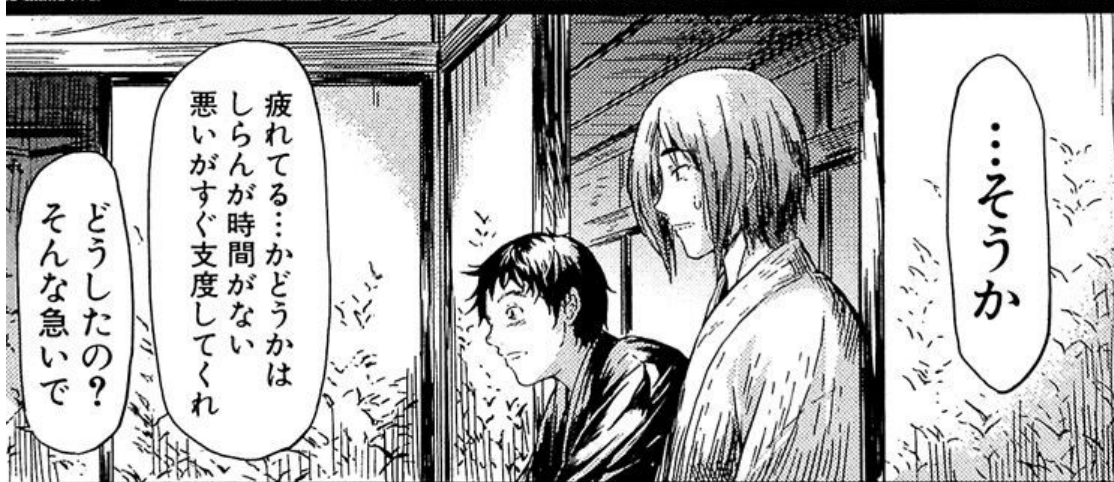
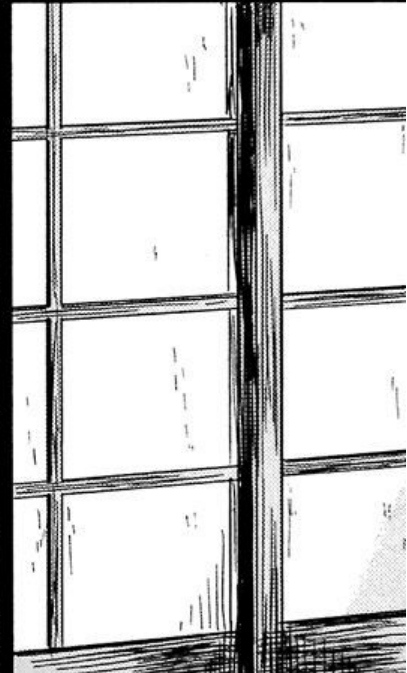
お前等
これは…？

大丈夫大丈夫
腹上死一步手前
だけどね



遊女をこの程度で屈服
させようなんて笑っちゃうよね
手足縛られなかったら
こんな男達余裕よ

それにさすが期待の新造
雪霧も強い強い
外見もそうだけどあっちでも
客がつくわよこの娘



…そうか

疲れてる…かどうかは
しらんが時間がない
悪いがすぐ支度してくれ

どうしたの？
そんな急いで



島をでる





島の裏手に船を
用意させてる
そこから本島に行く

ねえちよつと待ってよつ
島をでるって
どういふことなの？

そんな…
話が急すぎて
訳わかんないって



心配するな
向こうで住む準備もしている
職もおちついたら紹介してやる

藍葉お前は楼に借りもない
長谷部も会社
に
擦り付けられた借金だろ？
こんな場所にいる必要もない



丁度いい機会だ
一緒にこの島からでるぞ

……
私は出て行かないよ



産まれも育ちも常春の私は
ここ以外で生きていくなんて
考えられないよ

それに私はこの島のこと
嫌いじゃないんだ
可愛い後輩もいるしね



雪をつれて
いっておいで



私の分まで本土の
風景をみてきてよ

藍葉…



…
そうか



あの…

僕も大丈夫です
借金は借金ですので
ちゃんと返さないと



雪…いくぞ

は、はいっ



ほらほら
おだて 急げ…!!

わわ、おれたち
危ないですよ、

ははは…



ばいばい
春君



じゃあ私達は戻ろっか
長谷部君

は、はい

それにしても長谷部君は
もっと世渡り上手くないとね

す、すみません

産まれた瞬間から
自身を縛り続けてきた
常春



いつのまにか
ある事が当たり前の前
のように思っていた

お前はいつも
お茶ばかりだな

ううせ 船は来たら
さっさと船出してくれ

まったく

だけど笑えるぐらい呆気なく
島をでることができた

ガッ

ガッ





今宵も春を求めて
多くの人々が集い始める

刹那の出会いの中
桜は咲き続けていく



…そうか
春風は出て行ったか

どう
いたしましょう？



……
あんな奴
ほっておけ



馬鹿息子め

此処は常春





人々の想いが
舞い上がる島――

◆END◆

epilogue

ああああ

なあ本当に産んで
良かったのか？

あらどうして？
せっかく授かった命
なのに

あの時に妊娠した子供だ
お前が無理してないか
心配なだけだ

んやあ

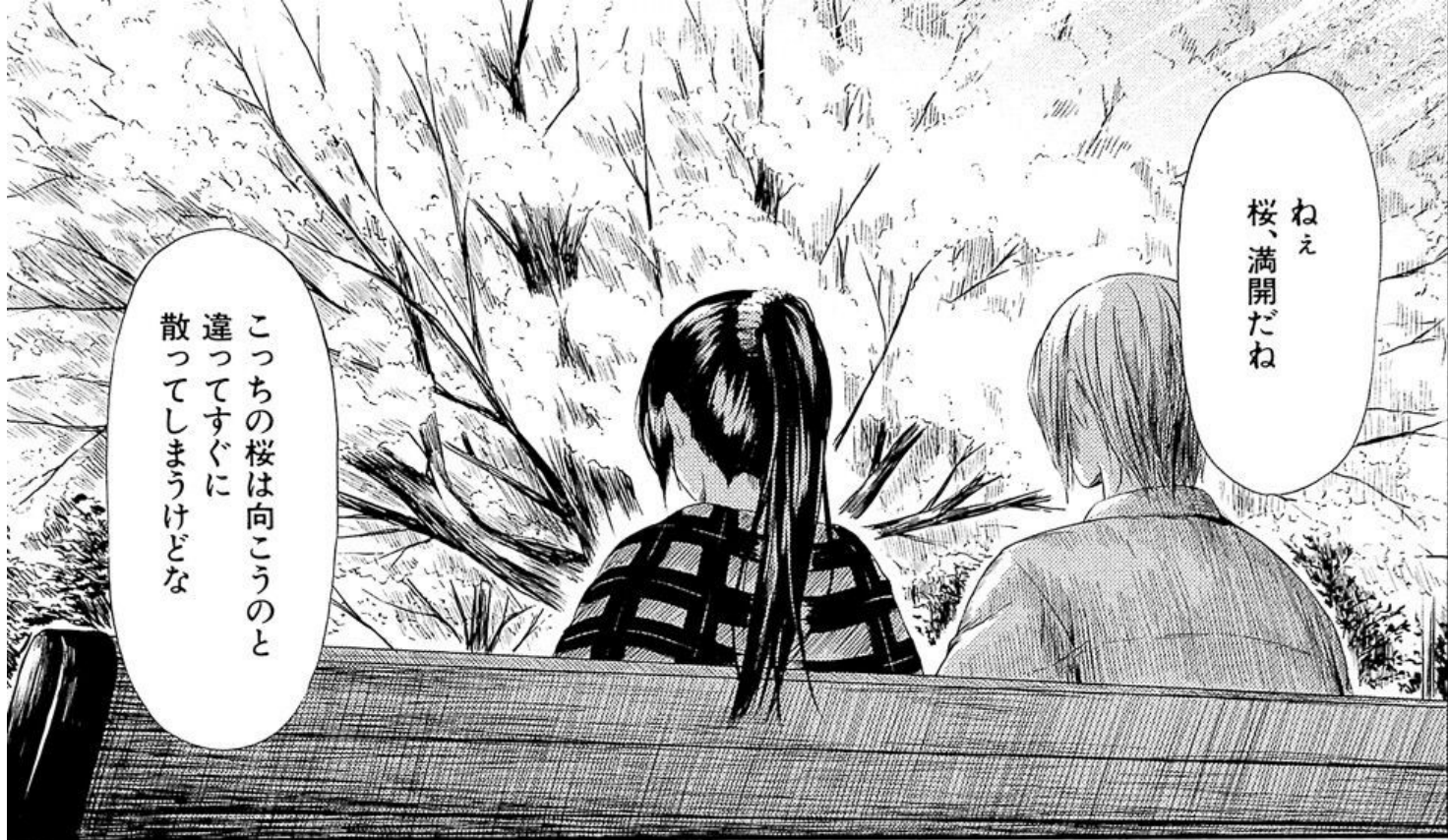
そうね旦那さんに似て
怖い顔になってしまわないか
どうか心配かな

ふふ目元なんて
春ちゃんにそっくり

ああ

うるせ将来
男前になるに決まってる

はははどうかなく



ねえ
桜、満開だね

こっちの桜は向こうのと
違ってすぐに
散ってしまうけどな



私はどちらの桜も
好きだなあ



両方の桜それぞれ
綺麗だと思わない？

そうかな

◆END◆

じゃあ町家ここ
皆に説明頼む



やだ皆見てる…

はい…

思春期妄想期間

きちんと
女性の体について
教えてあげなさい

もい

もい



なんで...おひきめて
私なの...





何を言ってるんだ町家
皆がお前に教材になって
ほいって言ってるんだぞ

特に
男が



でも私やっぱり
恥ずかしいです...



あの...先生

私変態みたい...

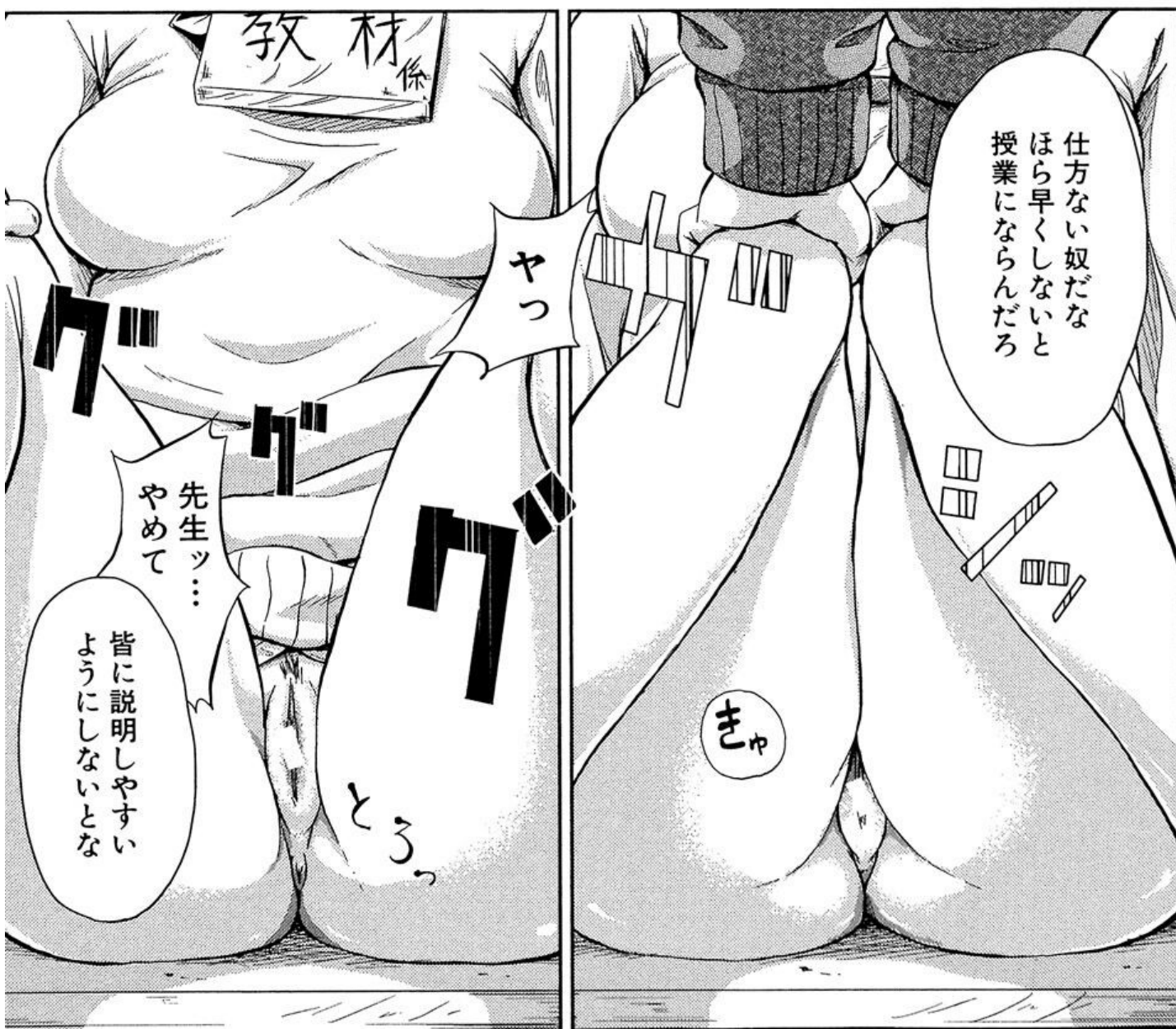
教材

す
とん

その...本当に
私がするんですか?

もじ

もじ



仕方ない奴だな
ほら早くしないと
授業にならないだろ

やつ

先生ッ...
やめて

皆に説明しやすい
ようにしないと

まゃ

とろ





じゃあこれで示す
場所を説明してくれ

トッ

これは何だ？
充血してるな



なんだ町家の方も
準備万全じゃないか



それは…

い…陰核です

ビクッ
ビクッ

刺激を与えたり
興奮すると充血
膨張します…



それじゃあ町家は今
興奮してるんだな？

教材

ママァ
ママァ

それは…

次はこの穴について
説明しない



……あれ？

うわ…本当に
見せてる…

この穴は膣と言います
男性の陰茎…オチ×チンを
いれるところです

教材

締めつけたりヒダヒダを
使つてオチ×チンを気持ち
よくして射精させます

奥には子宮があり
そこは精子と卵子が
受精する所です

ちゅあぁ

町家……

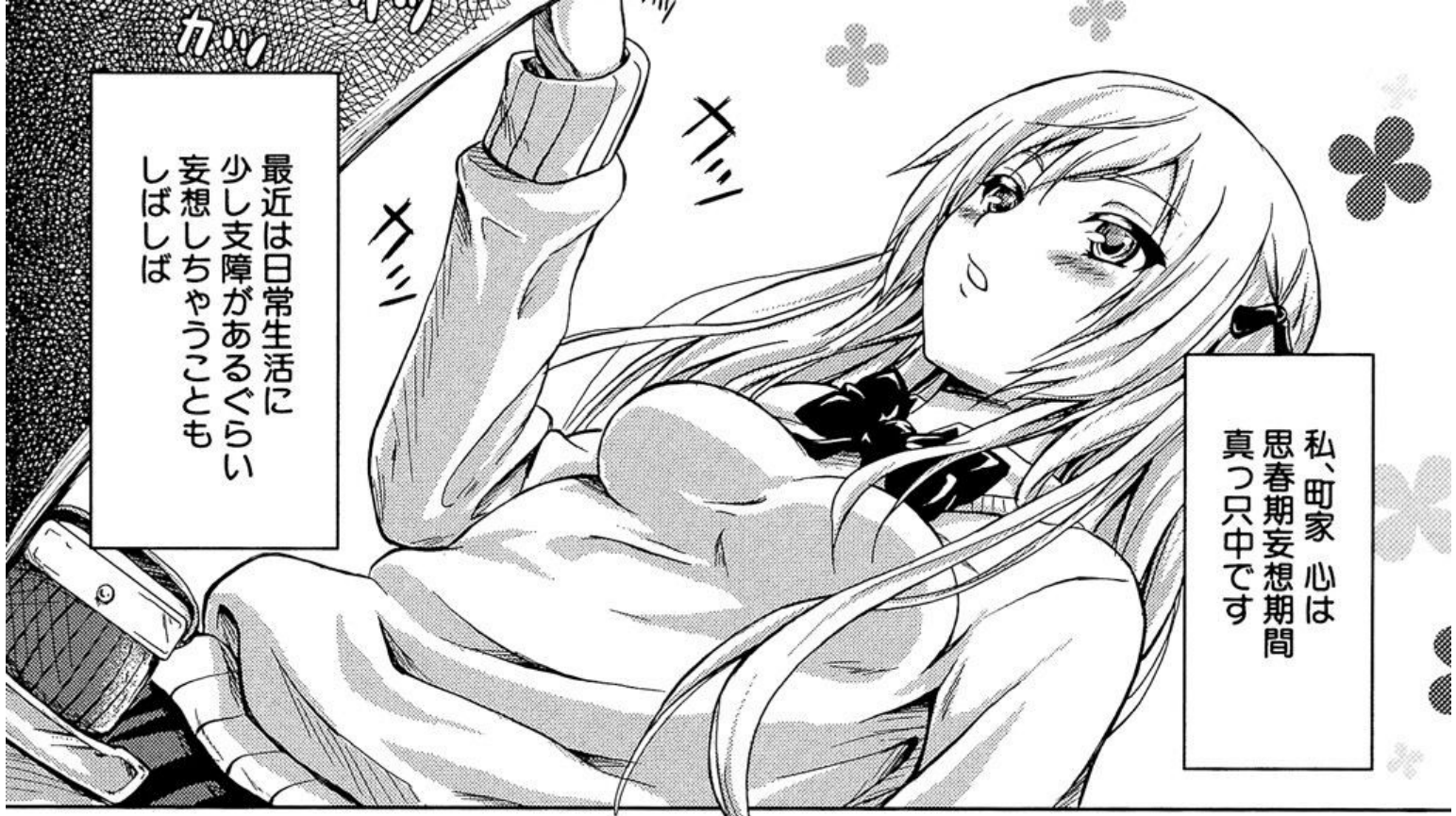
町家！

町家がボーッとしてる
とは珍しいな

町家のことだ遅くまで
勉強しているんだろうが
授業はきちんと聞くように

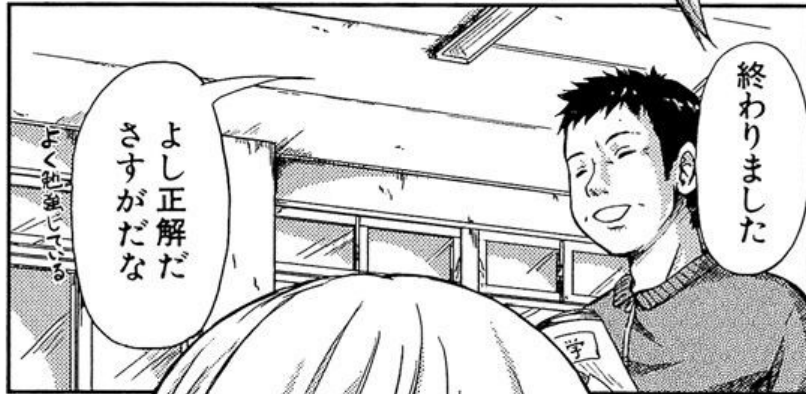
ご……
ごめんなさいっ

じゃあ罰として
前にきてこの問題を
解いてくれ



私、町家 心は
思春期妄想期間
真っ只中です

最近は日常生活に
少し支障があるくらい
妄想しちゃうことも
しばしば



終わりました

よし正解だ
さすがだな



授業中だから
したらダメって事は
わかってるんだけど…



ありがとう
ございます

はあ……



……本当に
どうしよう……

じわ…



どうした心？
元気ないじゃん
勉強のしすぎか？

ううん
寝不足なだけ

へえじゃあ
何かあったのか？
何か？



何だろ 私の頭の中で
二大勢力が戦争を
始めてしまった……
みたいな



美樹には
わからない
と思う

わかりたくもないが
きつと激しい
戦いなんだな

がんばれ…

まあ 私から
するとさあ…



容姿端麗
品行方正…



きゃッ

先生、生徒うけよし
我がクラスの
アイドル様が
何の悩みがあるっての？



こっ……こっ
も、揉むなあッ

や……
ッ

ほら

見てみろよ
心

男子ら
鼻の下のばして
心のことみてるぜ

え？

くそなんでスタイル
までいいんだよ
できすぎなんだよ

イキッョー
モ……

ちよ

ギョッ

きっと今日は心の事
オカズにして
オナニーだなッ

ヤッッ
見られた

ハッ

ちよつと……
いい加減にッ！

やめてッ

もみゅ

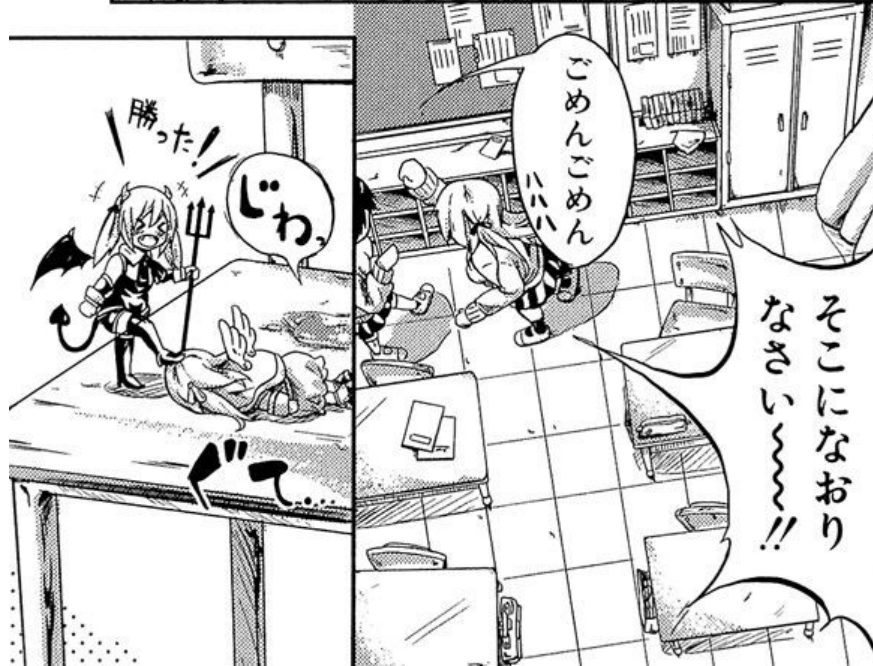
もみゅ

もみゅ

これは悩める女子達からの
復讐だッ

私が……
オカズ？

キョー♡





俺達先輩に部室の
掃除頼まれたんすけど
どうにも苦手で...

それでマネージャーに
頼めたらと思って

大丈夫だよ
これもマネージャーの
仕事みたいなものだし

掃除は私にまかせて
二人は練習に戻りなよ

おお本当に
ありがとう
ございますッ

さすがの
マネージャー様!!
あんなに
何となく!!

しかし...

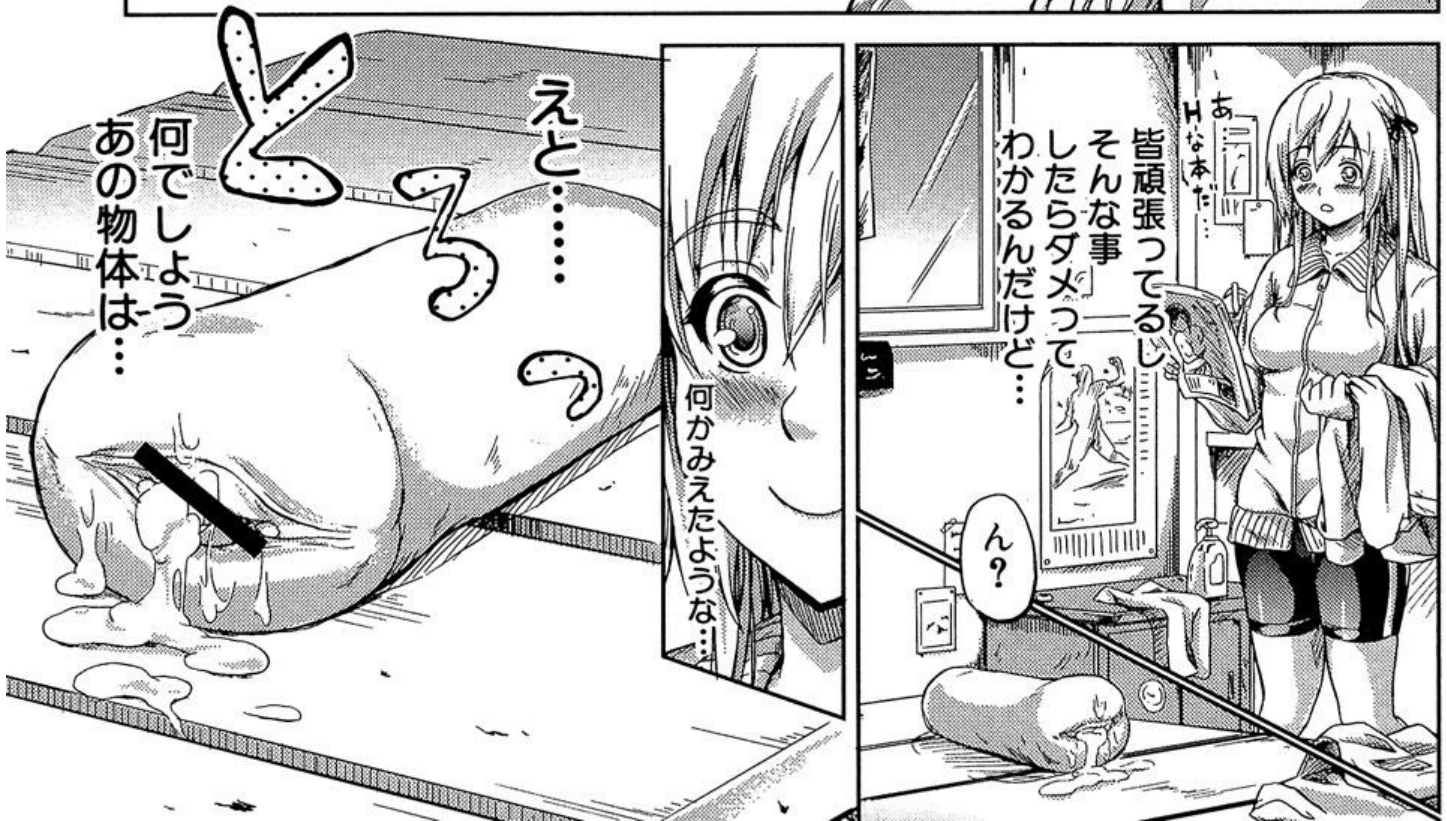
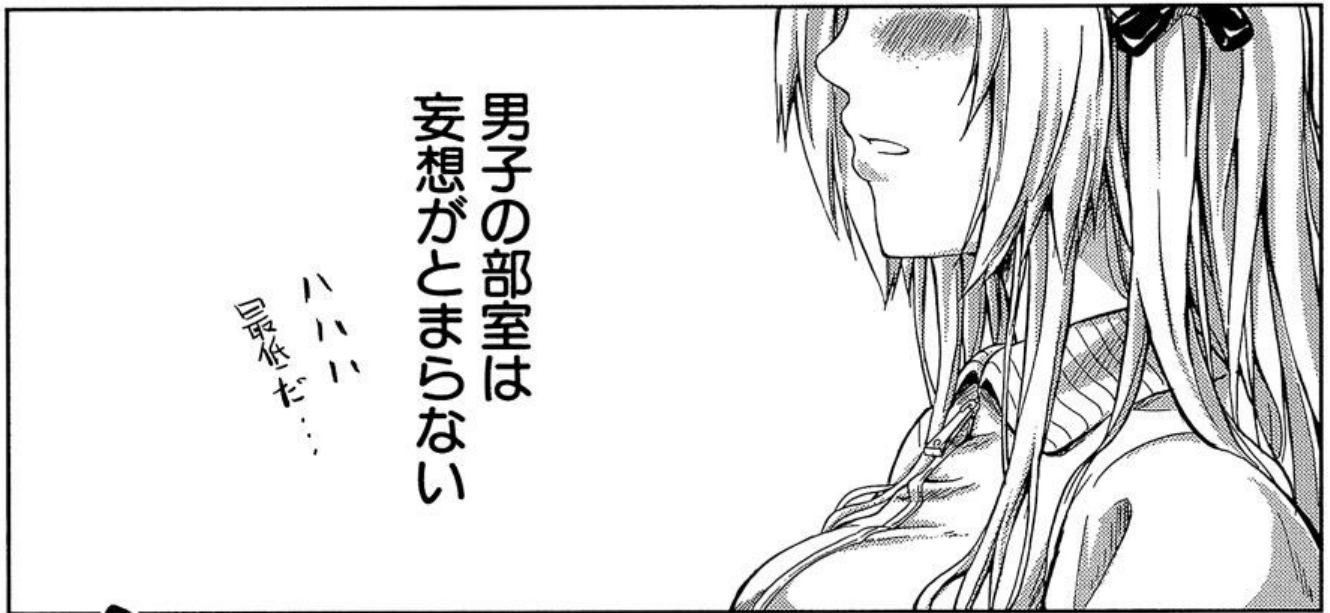
く
ちゃ

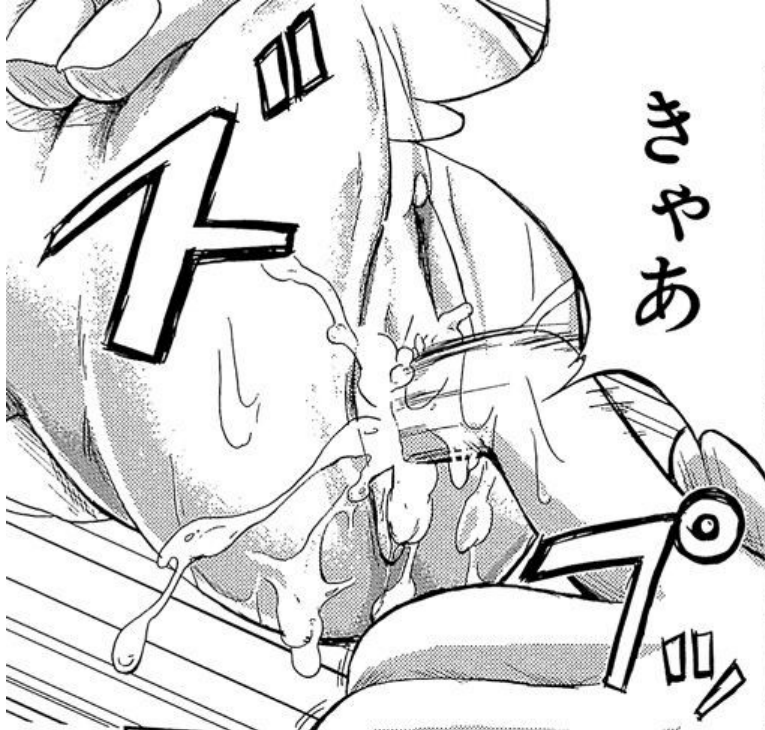
あ
あ

じゃあ
すみません
よろしくッス

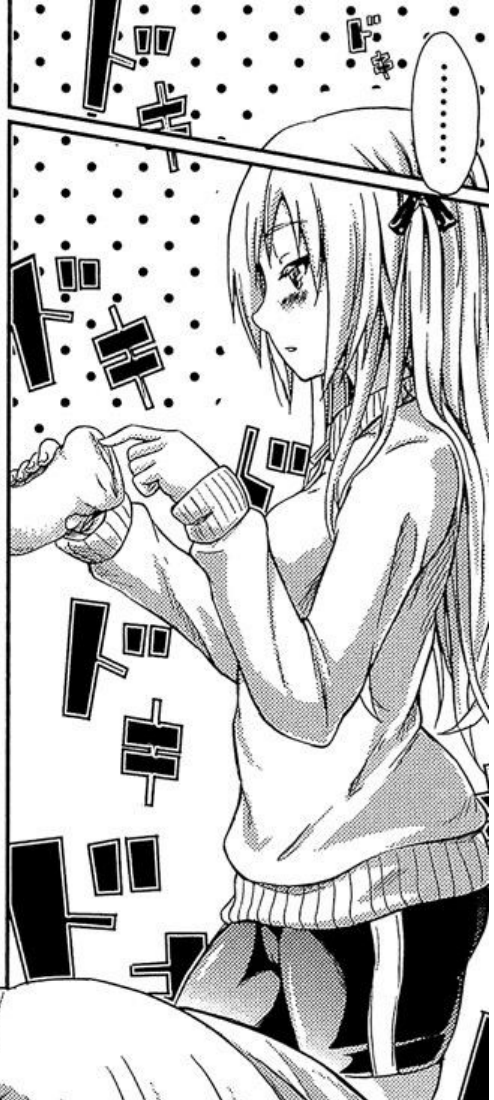
これは少し骨が
おれるかな?







きゃあ



なんか
生温かい物が
うわっ...うわわ

うわ...なにか
ニユルって入った
ニユルって...



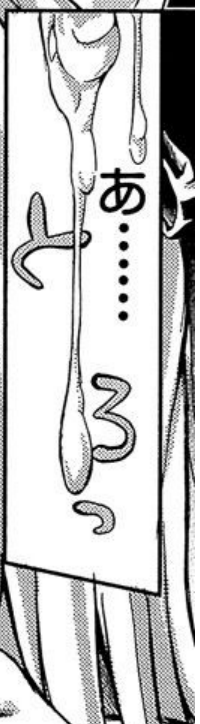
誰よ...

こんなのもって
きたの...



これ...精液...?

ぐちゃぐちゃ



あ...



あ……
鼻についちゃった……

ぷ
ちゅ
ちゅ

ハ
ハ

ハ
ハ



何だろう……
これ、すごい
におい……

ぞく
ぞく

ん

あ
しゅ
しゅ
しゅ

しゅ
が

私……マナーじゃーなのに
こんな事したらダメ……
だよ……

ア
ッ





あッ

あッ
あッ

あッ

アッ...

あ

しゅっ

しゅっ

ピッ

ニャ

パッ

ガッ
チ
ヤ

マネージャー何
やってるんすか?



俺マネージャーがそんな
変態みたいな事する
なんて思わなかったです

ちが…

ま…
まって…



他の部員が知ったら
どう思うっすかね？

ご…
ごめんなさい

私何でもするから
この事は皆には…



じゃあ…

あの…違うの…
これは…その…



マネージャー
俺達のも
慰めて下さいよ



マネージャー
今部活中つすよ
俺らマネージャーの事
手伝おうと
思ってたのに…

そんなに強くオナホを
握り締めて何の言い訳が
あるんすか？

ぎゅ







じゅん

ねえ誰か
助けてよ……

どうして……私なの？

お前
マネージャーの口
直接だったのかよっ
くそっ……うらやましい



やべ俺また
でそうッ……

ポッ

お……俺も
もうッ

んっ

アッ

アッ

ビッ



あッ...

ゴホッ

っ.....
あ...アッ

ホッ



汚れてるから
掃除しないとね



マネージャー俺らの
精液まみれ

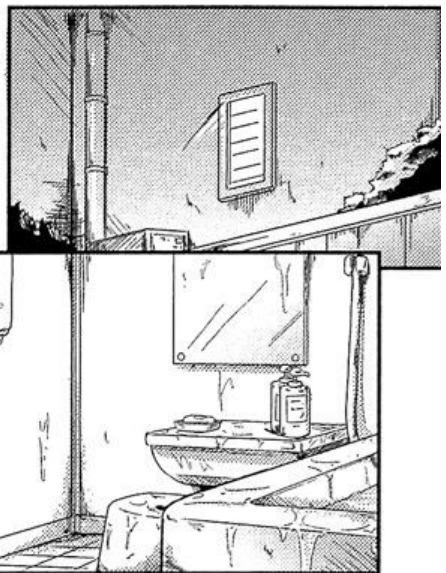
ほらマネージャー
まだ仕事が
残ってるでしょ



ポチャポチャ

今日は精神的にも肉体的にも両方疲れた……

はあ



学校で妄想するのはやっぱりよくないなあ……

チャブ



じゃあいつものところ置いてくからね

さちと確認してから入るよ



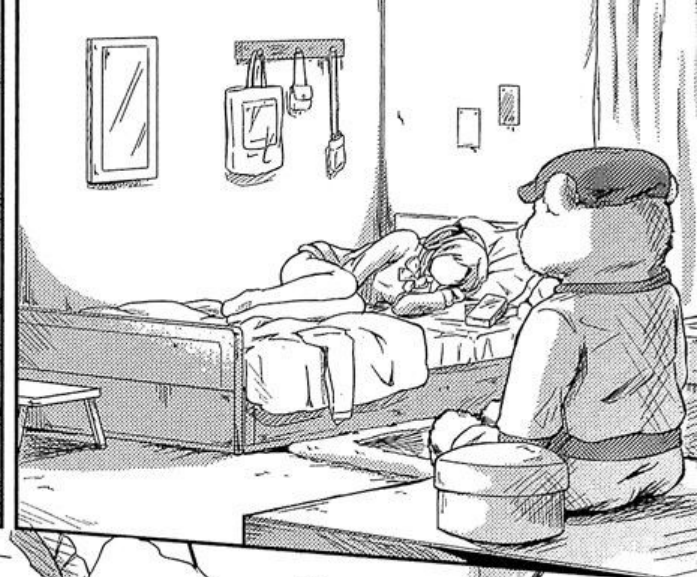
お姉ちゃん？ バスタオルもってきたよ

あっ ありがとう



お姉ちゃん、バスタオル……

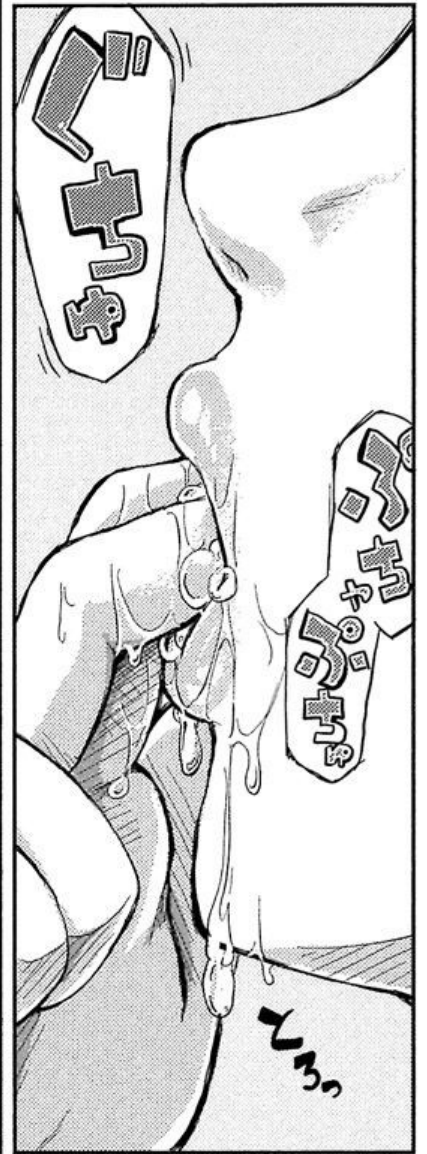




あ…またパンツ
汚しちゃう…

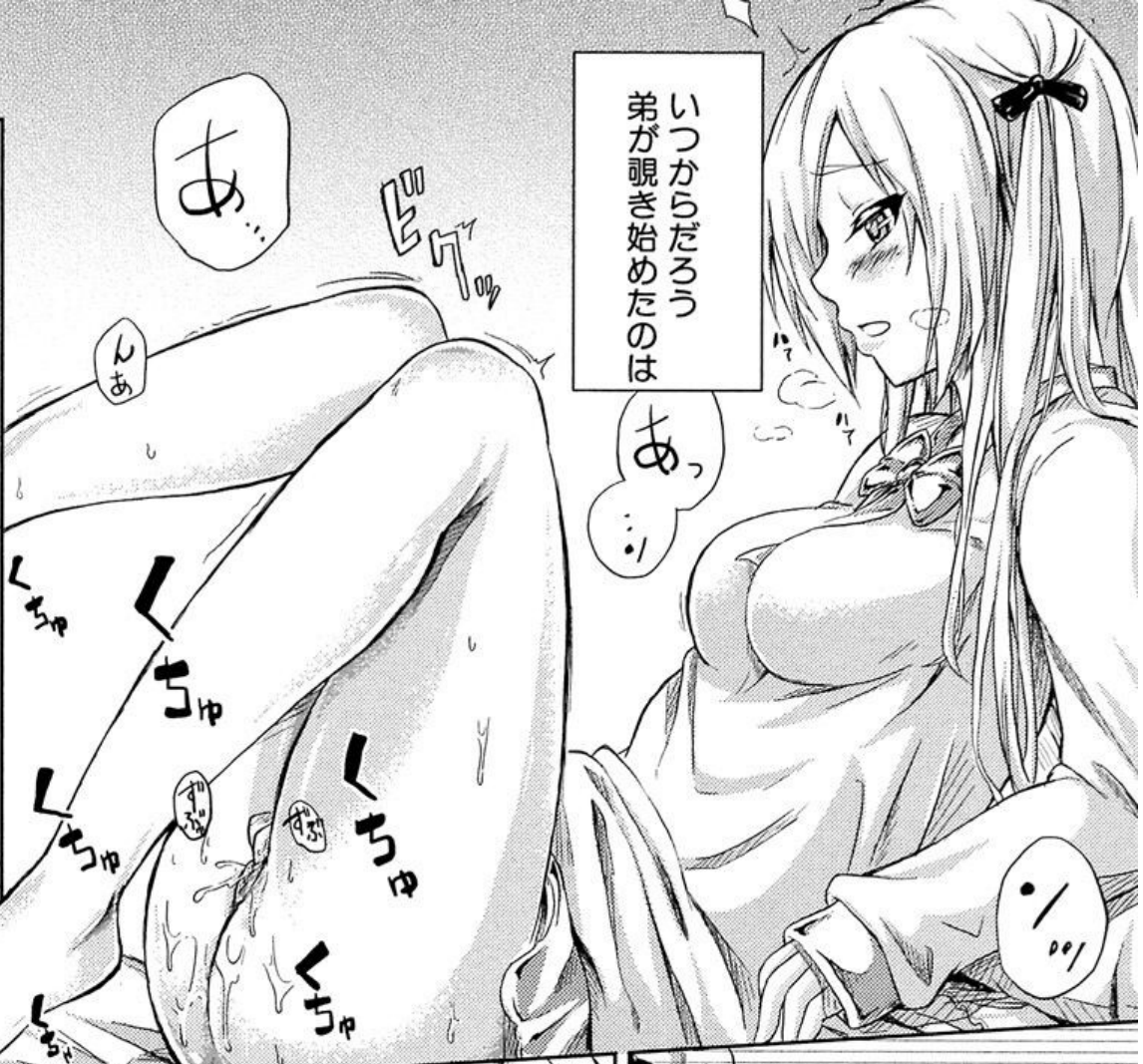
資料という名の
オカズ

はあ妄想しすぎて
溜まってるのかなあ
すごい気持ちいい





最初はすごい
驚いたけど…



いつからだろう
弟が覗き始めたのは

あ…

あ…

弟に
見られてると思うと
すごい興奮しちゃって…



最近はずわざと
ドアを少し
開けてたりする



お姉ちゃん



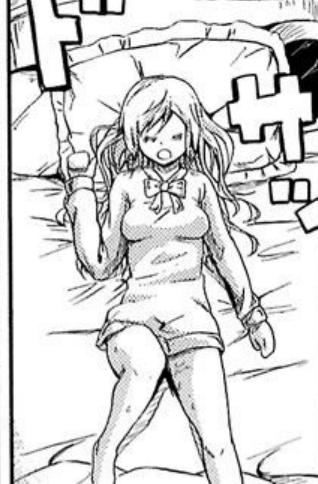
ごめんね進
変態なお姉ちゃん…

くちゅ

んっ

ふふふ

ああ♡





ここ私の部屋…
だよな？

あれ…進？
なんているの



ん……



ええっ!?

ちょ…ちよつと
何してるの!?

あの…これ
オチ×チンだよな？

ず

しょ

とろ



ね…ねえ進？

私…起きてるよ
その…ね

ダメだよ？

ふちゅ

にゅる

にゅる

う…
嘘…だよ？

フキ
フキ

プチュ

プチュ

プ

フキ
フキ

フキ

私達姉弟だから
こういうのは…

ま…待つて

私初めて…

これは…さすがに
シヤレに
なつて…ないッ

ぎゅっ

いっ

ビクッ

あ

いっ

ビク

ビク



す…進ッ
ダメ…だから

止めな…ッ

射精…されてるっ？

な…何これ…
子宮がしびれて
熱…い

オマ×コの中
精液ぬりこまれてる…



進…ッダメ！
私達姉弟だから
いけな…いッ

あ
あ
ッ

あ
あ
あ

あ

あ
あ
ッ

お姉ちゃんのオマ×コ
そんなにズボズボ
ダメなのお

あ
あ
あ

おッ…

おねがつ…い
もうやめ…てえ

僕…まだ

お姉ちゃん…

僕もっとお姉ちゃんに触りたい…!

お姉ちゃん乳首たってる

あ

ちよ……ちよ……ちよと進ッ

や……ひっぱらないで

ズル

何ッ……やってるの!?

ち……違うッ

まぎゅうう

乳首いじるとオマ×コの中すごい気持ちよくなるよ…

やあッあッあッ

まぎゅ

ピルル

うっ





あッ スッ

ぶ

ひ

ふ

あッ スッ

やあッ

弟にいいように
されて...

ぶ

あッ

あつ...そうか
これ妄想だっけ...

あッ

あッ

あッ

僕...
またッ...

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

お姉ちゃんの膣ッ
いっぱいだすね!!





ああ

もうッ…精液

やあ…あ!!

この妄想
すげーいいかも…



朝…？

なんかすごい夢を
みた気がする…
ついに夢にまで
妄想が入ってきたか…

む



ん？



え？

た…

これ…
妄想だね？

ハハッ

もい

◆END◆



あとがき

今回なんとか二冊目の単行本を出させて
いただけることになりました。

まずは担当のK様、デザイナー様、ティーアイネット様
そして読者の皆様、本当にありがとうございます。

世界って綺麗なものだと思います。
いきなりなんだという感じですが、絵というのは
個人が見た世界をピックアップして、
更に他人に伝えることができると思います。
常春は花をたくさん配置することで綺麗な
世界を少しでもエロ漫画に落とし込むことが
できないか、そして自分らしい作品を作りだせる
のではないかと思います制作しました。

長編ということもあり、長く付き合うことが
できましたが、その過程で自身の未熟さを嫌というほど
痛感させられました。

思春期妄想期間は初期の作品であり雑誌の巻末コメント
を初めて書かせていただいた作品です。

そのときに、「前のめりのこけて泥水すすりながら
歩いていく」というようなドMビクリなコメントを
書いたことを覚えています(笑)。

ただまさに泥まみれになりながら、
こけながらですが前に少しずつ進めていけた作品達だと
思っています。

まだ多くのことを学び、技術を磨き、自身を成長させて
いかなければならない未熟な自分ですが、多くの人に
付き合っただけのように今後もこけながら
前進していければと思います。

史鬼匠人

とこ はる しょう じょ
常春の少女たち

2014年11月21日初版発行

著 者——史鬼匠人

発行人——高橋広治

発 行——ティーアイネット

〒141-0022

東京都品川区東五反田4-6-7

藤和高輪台コープ404

営 業——03(5789)0571

F A X——03(5789)0576

◆本誌に掲載されている作品は全てフィクションです。実在の人物・団体・事件などはいっさい関係がありません。

◆購入者以外の第三者による本書のいかなる電子複製も一切認められておりません。

◆本書の無断転載、複製、上演、放送を禁じます。

◆乱丁・落丁本はおとりかえいたします。

©史鬼匠人／ティーアイネット

ISBN978-4-88774-539-1

お買い上げ
ありがとうございます。

史鬼匠人



